授業科目	日	本	国	憲	法	単位数	2	担当教員	平 田	陽一
講義のねら いと概要	景を理解	解する必要	要がある	。これ	らの憲法	上の法理念が	わが	理解するために 国で生まれたも	ものではな [。]	く、西欧で
								かもこれらの》 因となって、個		
						-		囚こなりで、∥ 権(生命・身¢		
	る無思慮	な侵害、	国家的	レベル	では民主主	三義の未成熟 る	という	ような重要な	問題を生じ	させ、年々
12 W 1 =	より深刻	りな状況に	こ陥らせ	ている。	。講義では	は、憲法の基準	本原理	里などについて	説明をする	0
授業計画	第1週	憲法につ	いて							
	第2週	自然法思	想と近代式	憲主義						
	第3週	近代国家	と憲法							
	第4週	憲法の基	本原理 = 平	和主義						
	第5週	憲法の基	本原理 = 国	民主権主	三義 					
	第6週	憲法の基	本原理 = 丿	、権尊重主	三義					
	第7週	憲法の基	本原理 = 権	重力分立主	三義 					
	第8週	国民の権	利 = 人権							
	第9週	国民の権	利=自由権	Ē						
	第 10 週	国民の権	利 = 社会権	Ī						
	第 11 週	国民の権	利 = 参政権	[等						
	第 12 週	統治機構	= 立法機関							
	第 13 週	統治機構	= 行政機関							
	第 14 週	統治機構	= 司法機関							
	第 15 週	憲法の現	代的諸問題	1						
指導方法								見範であり、「詞		
履修上の注 意								としてのあり方 はなく、より頽		-
在 息								はなく、よりた 強することが望		ョしの人主
成績評価の	筆記試験	€(80%	6) 授業	美態度 ((20%)	原則として	筆記詞	武験の結果によ	る。	
方 法										
教 科 書	『現代社	社会の法と	ヒ民法』	(小野幸	三二編著、	八千代出版)	1			
参考文献	参考文献	ぱい初回 <i>0</i>	の講義の	ときに	説明をする	3.				

授業科目	体	育	実	技	単位数	数	1 3	担当教員	山城屋正満・	岡芳郎		
講義のねら	短期人	 く学での体育	は、生涯生	 ೬活を健康て	:人間性	 豊かに	 過ご	すための幅	 広い教養を身	 につける		
いと概要									維持、増進さ			
									、多種多彩で			
	れぞれの)運動内容は、	、運動様式	. 運動形態	、運動力	方法なる	どにも	にり、質的、	量的に異なる	5。		
	体育寅	₹技は、現在	までの体育	的な素養を	基礎と	し生涯	体育	を念頭にお	いて、各種運	動、スポ		
	ーツ種目	目の実践を通	して、身体	体に関する知	識と各続	種運動	の方法	法を知ると	ともに、次の	ような狙		
	いを持っ	て実習する。	,									
	1) 心身の発育発達の促進および健康体力の維持増進のための運動方法の学習。											
	2)社会	ミ性および道?	徳性の育成	Ì.								
	3) 生涯	E スポーツに	関連した自	1己開発能力	の育成。							
授業計画		オリエンテー:		ら選択できる。								
			(第10時	限までは、共通	<u>(</u>)	至12週	軽ス	ポーツ(フリフ	、ビー、フラフー:	プなど)		
	第1週	1) 平常コー <i>2</i> 2) スケート		下旬 3泊4日		~= ~=	1271		, , , , , ,	, 6.2,		
		3)スキー教	室 (2月初	旬 3泊4日) 体験授業がある								
		上記コースに		仲成3文米73.00で		13週	ソフ	トバレーボール	V			
	第2週		トレッチなど)	第	14週	ソフ	トバレーボール	 V			
	第3週	集団行動		トバレーボール	 V							
			集団行動 第 15 週 ソフトバレーボール 15 週 リフトバレーボール 15 回 リフトバレーボール 15 回 15									
	第4週	スポーツマッ	サージ		第	至16週	卓球					
	第5週	テニス			第	17週	卓球					
	第6週	テニス			第	18週	卓球					
	第7週	テニス			第	至19週	バス	ケットボール				
	第8週	テニス			第	至20週	バス	ケットボール				
	第9週	バドミントン			第	至21週	バスケットボール					
	第 10 週	バドミントン			第	至22週	ドッジボール					
	第 11 週	バドミントン			第	至23 週	まと	め				
指導方法	2) 7	スケート・3)スキーニ	1ースに係る	各諸費用	用につ	いては	は、全額学生	Eの負担となる	٥٠.		
履修上の	体育着に	は自由である。	,シュース	ば体育館用	、外用な	が必要	である	5.				
注 意												
	4 \ 75 **	÷ ¬ ¬	÷+EA / 4:	00/) 切坐	** 产 / • /	20/ 2	++	(000/)				
成績評価の	1)平常			0%) 授業原								
方 法 	-	「一ト教室 ニー教室	-	0%) 授業第	-	-						
 教 科 書	-	≒ー教室 プリントを配 ^対		0%),授業原	忠反(40	プグロ 人	夫抆	(20%)				
教科書 	- 旭日、ノ	,ソノトを配 ,	1 J ₀									

授業科目	体	育	講	義	単位数	1	担当教員	山城屋正満・岡	芳郎
講義のねら								∟ 本育、保健の学習	
いと概要					要な人間の身	体特	性について、私	斗学的理論に基7	づいた
		対養を身につ マスポーツは、			実施される	健康と	と体力の維持増	進に寄与できる	
			. — —						
授業計画	第1週	現代生活と運	動						
	第2週	健康と体力							
	第3週	心身の発育発	達と運動学習						
	第4週	スポーツの学	習						
	第5週	体力の診断と	体力づくり						
	第6週	トレーニング	科学						
	第7週	社会体育							
	第8週	応急処置						(第8週で終	行)
	第9週								
	第 10 週								
	第 11 週								
	第 12 週								
	第 13 週								
	第 14 週								
	第 15 週								
指導方法履修上の	授業の開	見始は11月	である。						
渡 じ エ の 注									
成績評価の	試験 (5	0%) レオ	パート(10)%) 授業	態度(40)	%)			
方 法									
教 科 書	適宜、フ	プリントを配 ^注	布。						
参考文献									

		٦
授業科目	日本人と宗教 単位数 2 担当教員 宮内淳平	
講義のねら	元来信仰としての宗教と、学問としての宗教とは次元の異なるものであり、区別される部分	
いと概要	│ でもある。ここでは学問としての宗教学ににおいて扱われる主要なテーマを取りあげすすめて │ いく。また、それぞれのテーマの中で、具体的に日本の民族宗教である神道、中国の民族宗教	
	である道教・儒教等にもふれ、日常的生活に横たわっている民間伝承宗教行事の具体例をも取	
	りあげ、それらの宗教行事に流れる思想・文化等多角的に検討し、死生観を含み宗教の役割及	ኒ
	び機能について総合的に考えてみる。	
授業計画	第1週 宗教学とはどのような学問か	-
	第2週 人文科学の中での宗教的考えと宗教の概念について	
	第3週 宗教の誕生と起源	
	第4週 日本人の宗教に対する考えと信仰の自由について。原始宗教とアニミズム・シャーマニズム・トーテミズム	
	第5週 宗教の分類	
	第6週 宗教儀礼と通過儀礼	
	第7週神話の歴史及び神道について	
	第8週 呪術と祈りについて	
	第9週 生活の中の宗教と民間信仰	
	第 10 週 天の思想と中国民族宗教及び儒教について	
	第 11 週 中国道教について生活	
	第12週 日本人の死生観『地蔵十王経』について	
	第13週 日本人の死生観『地蔵十王経』について	
	第 14 週 宗教と科学の関係について	
	第15週 現代社会と宗教と生き甲斐について	
指導方法	講義を中心とするが人文科学(NATURAL SCIENCE)の基本的な考え方に基づき、休日等	Ť
履修上の	には博物館・美術館等の見学を勧める。 ***********************************	4
注	教科書は使用しない。DVDを使用。授業の中で適宜レジュメを配布予定。講義を欠席した学生は友人等からコピーし入手すること。	-
成績評価の	レポート(80%) 授業態度(20%)	
│ 方 法 │		
教 科 書	プリントを配布	\dashv
参考文献	『宗教学』(岸本英夫著、大明堂出版)	

授業科目	歴	史	を考	える	単位数	2 担当教員	宮内淳	平
講義のねら いと概要	基本的な に日中関 隋使」「	は問題か 関係史に 「遣唐使	ら入り、歴 ついて概説 」以来のE	史の基礎知識 する。特にE 中関係を中心	ぱについて概括6 本人にとって「 いとした中で、:	的に論じ、その後 中国は身近である 主要な項目を取り	 つことかを問いか 世界の歴史の中で と言われている。 上げ、日本と中国 がら考え、日本を	も特 「遣 文化
授業計画	第1週	歴史の事	事実と必要性					
	第2週	暦につい	て					
	第3週	暦の文化	とについて					
	第4週	日本の歴	を 史の始まり と	:農耕文化につい	τ			
	第 5 週	中国正史	ここ ひる日本					
	第6週	日本のさ	5代文化につい	IT				
	第7週	日本の古	5代文化につい	IT				
	第8週	氏姓制度	夏と大宝律令に	こついて				
	第9週	氏姓制度	そと大宝律令に	こついて				
	第 10 週	平安時代	犬の女性論					
	第 11 週	律令制で	での女性					
	第 12 週	日本の律	津令制					
	第 13 週	中国の律	津令制					
	第 14 週	諸子百家	の思想的性格	3				
11/2 12/2 12/2 12/2 12/2 12/2 12/2 12/2	第 15 週			国的知識と知恵	1 1111+1-	(- 		
指導方法履修上の注意					r キストは特に - するなど必ず/		₹の時適宜レジュメ	·を配
成績評価の 方 法	レポート	~ (80	%)授業的	態度(20%)			
教 科 書	特に使用	目しない	が、レジメ	配布予定。				
参考文献								

古米乙口	
授業科目	文 章 に 親 し む 単位数 2 担当教員 宮 内 淳 平
講義のねら いと 概 要	「誰にでも分かる文章」、「誰にも誤解されない文章」を書けるようにするのがねらいです。 書き手や話し手の意思を、適切な言葉と表現で正しく(誤解されないように)効果的に伝え
VI C IM D	るための技術を学習します。正しく効果的に伝えるための技術を習得し、自己を表現できるよ
	うになれば、他人に感動を与えたり、社会を動かしたりすることも可能です。文章の善し悪し
	は表現技術によって決定します。表現能力はあっても、技術を知っていなければ決して上手に
	は書けません。また、高校までの授業で習ってきた文法を正しく使っても、上手な表現の文章
授業計画	が書けるというものではありません。
以来们凹	第1週 良い文章と悪い文章とは
	第2週 センテンスの区切り方
	第3週 修飾語と被修飾語の配置
	第4週 正しい敬語の使い方
	第5週 正しい丁寧語の使い方
	第6週 主語と述語の配置
	第7週 誤解される文章とは
	第8週 実践小論文の書き方
	第9週 実践小論文の書き方
	第 10 週 実習調査票の書き方と添削
	第 11 週 実習調査票の書き方と添削
	第 12 週 実習調査票の書き方と添削
	第13週 作文(随筆)の実際
	第14週 作文(随筆)の実際
	第 15 週 まとめ
指導方法	受講者には、文章の書き直しや作成作業を課します。受講者が作成した文章などは全て添削
履修上の 注 意	│ して返却します。授業には国語事典を必ず持参すること。 │
注	
成績評価の	課題(70%) 授業態度(30%)
方	
 教 科 書	 その都度プリントを配布予定。
参考文献	

授業科目	現代社会事情単位数 2 担当教員 松木久子
講義のねら	日々さまざまな問題が起きている現代社会ですが、一見、「私には関係ない。知らなくても問
いと概要	題は無い。」と思われるようなことでも実は大いに関係があり、自分の将来が左右される問題で
	あるかもしれません。社会に巣立っていく学生のみなさんに、必要と思われる情報を適宜与え、
	一般常識として「そんなことも知らないなの!本当に短大を卒業したの?」と言われないため にも、社会を見る目を養い認識を深めるために時事問題に関して広範に取り上げていきます。
	にも、性女と元も日で良い心臓で外のもために助手向感に関して囚犯に取り上げていてより。
授業計画	第1週 オリエンテーション:履修上の注意、講義内容の概要等
	第 2 週 社会(1):司法制度改革
	第 3 週 社会(2): 格差・少子高齢化社会
	第4週 社会(3):年金問題、医療保険改正
	第5週 政治(1): 与党と野党
	第 6 週 政治(2):憲法改正論
	第 7 週 政治(3):選挙制度
	第8週 経済(1):消費税率引き上げ問題
	第 9 週 経済(2):株価動向
	第 10 週 国際(1): 北朝鮮問題
	第 11 週 国際(2): アメリカ大統領選挙
	第 12 週 国際(3): 国際連合と国際機関
	第 13 週 地球温暖化問題(1)
	第 14 週 地球温暖化問題(2)
	第 15 週 試験およびこれまでのまとめ
指導方法	授業形態は講義が中心となりますが、発表や映像鑑賞を取り入れたりしながら、弾力的に展
履修上の	開していこうと思います。日頃から身の回りの出来事に興味・関心をもち、毎日一回は新聞に
注意	目を通し、ニュースに耳を傾けてください。図書館等を利用して、自ら積極的に調べることを
	通して、主体的に学ぶ態度を養ってください。
 成績評価の	筆記試験(40%)、発表(30%)、授業態度(30%)
方 法	
教 科 書	特に指定はしません。
参考文献	授業中に適宜、必要なプリント・資料等を配布します。

授業科目	数	学	の	基	礎	単位数	2	担当教員	星	野	治	
講義のねら	学習최	対として	の数学!:	ナ 《理系	の科目	 だから自分に	は関	 係ない》とか、	 《ふだ <i> </i>	の計会	全生活に	
いと概要								に、どちらか。				
						当にそうでし						
								、 、数学を学ぶ [、]	うえでス		必要なも	
						力、文章表現						
					-		-	、古今東西のし	13113	ろな文芸	芸作品や	
	私たちの	つふだんの	日常生活	舌の中に	潜んでし	1る、数学の!	思いだ	がけない姿を探	ってみ	ます。		
授業計画	第1週	【数につい 自然数、整		-	理数、" 数	ではない数 " 等	々、こ	れまでに学んだい	ろいろな	数を概観	します。	
	第2週	【計算につ 整数、小数			る計算・消	寅算を再確認しま						
	第3週	【計算につ 主として中		. ,	代数による	る計算・演算を再	再確認し)ます。				
	第4週	【 文芸作品 文字作品に		. ,	不思議さ、	面白さを概観し	 ノます。					
	第5週	【日常生活 "時間"に	の中の数: まつわる	学(1)】 様々な話題	を、数学(の観点から眺め直	 [します	r.				
	第6週	【 文芸作品 音楽作品に		. ,	不思議さ、	面白さを概観し	 ノます。					
	第7週	【日堂生活の中の教堂(2)】										
	第8週											
	第9週	【日常生活 "形"や"		. ,	な話題を、	数学の観点から	5眺め፤	直します。				
	第 10 週	【文芸作品 動画作品(る数学の	不思議さ、面白さ	を概額	見します。				
	第 11 週	【日常生活 " コンピュ			々な話題を	を、数学の観点か	いら眺め	う直します。				
	第 12 週	【" 言葉 " d 理科 (特に			送言語と	しての数学を概律	見し直し)ます。				
	第 13 週	【"感覚"。 数学的な感			することの	の重要性を再確認	なします	t.				
	第 14 週	【幼児教育 後日開講さ		:		単な導入を行いま	₹す。					
	第 15 週	【期末試験 授業の前半			は試験問題	題の解説などを行	ういます	۲.				
指導方法	1 . 講郭	態形式によ	ります。									
履修上の	2 . 授業	美の進行都	合により	り、開講	順序を変	変更する場合:	があり	ります。				
注 意	3 . レオ	ポートの作	成を行っ	っていた	だく場合	合があります	(詳約	囲は、授業時に	説明し	ます)。		
	4.数学	好きの人口	こは少々	物足り	ない内容	Fかもしれまt	せんカ	で、途中で履修	放棄した	たりせ	ず、最後	
	まて	で授業に参	加する。	よう努力	してくた	ごさい。						
成績評価の	筆記訪	式験(70	%) 授	業態度 (30%)						
方 法												
教 科 書	必要に	に応じて指	定します	す。 す。								
参考文献	必要に	に応じて随	時紹介し									

	ı											
授業科目	数	学	の	基	礎	単位数	2	担当教員	杉	Щ	早	苗
講義のねら								力をつける。数	数字デー	- タに	:基づ	く現
いと概要	状分析の)数学的方	方法、ま	た将来	予測に役	立つ数学の基礎	礎知語	戦を学ぶ。				
授業計画	第1週	確率につ	いて:出	+ 率等を係	制にして							
	第2週											
					出等の重要性 							·····
	第3週	無作為抽	出をめぐ	って:乱数	対表の活用等							·····
	第4週	度数分布	表による	青報の縮約	りと解釈							
	第5週	正規分布	とそれにイ	半ういろに	1ろな現象							
	第6週	標本平均、	、分散、	漂準偏差の	D意味と活用							
	第7週	標本平均	の分布と									
	第8週				D信頼区間							
	第9週	偏差値の	定義及び	意味とその	D正しい活用	法						
	第 10 週	中央値の	定義及び	適用法と3	 平均値との使	い分け						
	第 11 週	二項分布	と母数推済	定、調査す	データ数の決	····································						
	第 12 週	個体差を	表す変動	系数とその	D利用法		•••••				•••••	•••••••••••••••••••••••••••••••••••••••
	第 13 週	2 変量間	の関連性の	の尺度:林	目関係数							
	第 14 週	統計的仮	説検定								•••••	
	第 15 週	筆記試験										
指導方法	各回に	こ、授業の	の理解を	確認す	るため演	習の時間をと	る。	その解答を提出	出しても	561	成績	評価
履修上の	の参考に	こする。										
注 意												
 成績評価の	筆記試験	美(50 %	6) 課!	題(20)%), 授	 業態度(30 ^り	%)					
方 法), m///	_	,, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	(- 0	. ,					
教 科 書	『保健・	医療を覚	学ぶ人の	ための	統計学』(杉山高一・佐	藤学	・杉山早苗著、	. 絢文社	±)		
参考文献												
I	l											

_										
授業科目	エ コ ロ ジ − 入 門 単位数 │ 2 担当教員 │ 中 村 陽 一									
講義のねら	エコロジー(Ecology = 生態学)とはギリシア語で「家」を意味する oikos(オイコス)から									
いと概要	作られた言葉で、本来は「家の学問」という意味である。ここでいう「家」とは生物とそれる									
	取り巻く環境全体を意味する。すなわち、エコロジーとは「生物と環境のかかわりを研究する									
	学問」であり、「環境生物学」と同義語である。									
	近年、環境問題が深刻化する中、「エコロジー」は、人間と自然との共存を目指すようになっ									
	た。現在では、エコロジーあるいは、エコ**という言葉は、環境に配慮した生き方や、商品・									
	経済・システムなどに広く用いられている。本講では、人類が地球環境に対して与えてきた影									
	響について歴史的に検証し、地球上で起きている環境問題の現状を学ぶ。									
授業計画	第1週 エコロジー(生態学)とは何か ~その思想と歴史~									
	第2週 エコロジーから見た世界史 ~イースター島の悲劇~									
	第3週 エコロジーから見た世界史 ~古代文明と森林破壊~									
	第4週 エコロジーから見た世界史 ~西欧文明と環境破壊~									
	第5週 エコロジーから見た世界史 ~ 大航海時代の光と影~									
	第6週 エコロジーから見た日本史 ~ 自然と共存した縄文文化~									
	第7週 エコロジーから見た日本史 ~ 持続可能社会だった江戸時代 ~									
	第8週 エコロジーから見た日本史 ~公害問題と環境問題~									
	第9週 環境問題の現状 ~ 大気汚染と水質汚濁~									
	第 10 週 環境問題の現状 ~ オゾン層破壊 ~									
	第 11 週 環境問題の現状 ~ ごみとリサイクル ~									
	第12週 環境問題の現状 ~地球温暖化の現状~									
	第 13 週 環境問題の現状 ~ 温暖化は何をもたらすか~									
	第 14 週 エネルギーとエコロジー ~原子力と自然エネルギーをどうするか~									
	第 15 週 地球の未来はどうなるか ~人口増加と資源・食糧問題 ~									
指導方法	日常から環境問題に関心を持ち、問題意識を持って取り組むこと。									
履修上の										
注 意										
成績評価の	期末試験(70%) 小テスト(30%)									
方 法										
教 科 書	特に指定しない									
参考文献	授業中に紹介する									

授業科目	情	報	機		 操	作	単位数	2	担当教員	星野	治・金	空郁
講義のねら いと概要									いものがあり D、楽しく創造的			
VI C 1141. 32									、来して高過で 務・情報交換・			
					-		考えられます。				() ()	
	本科目	では、	幼児教	教育を行	行う方法	法の上で	での技術とし ⁻	て、情	報機器を利用	するには	ま、どの。	ような
	考え方で	ごどの。	ような	情報機	器を用	いて行	うことが最も	適切な	なのかについて	理解を	図ります	•
授業計画	第1週	本授業	の目的、	. 方法そ 	して受講	ま上の心構	また / 情報機器操作	Fの基z	本理念 			
	第2週	視聴覚	的教育と.	メディア	教育 / 教	対育方法と	:メディアなど					
	第3週	視聴覚	メッセ・	ージの本	質/視聴	覚と創造	的思考など					
	第4週	視聴覚	のメデ	ィアとメ	ッセージ	氵/ 教材教	ス具・メッセージ の	D視聴覚	 章化			
	第 5 週	ハード	・とソフ	トなど								
	第6週	教育と	 視聴覚.	メディア	 の方法原	理						
	第7週	1.映 2.記 3.印	像と音声 録・編集 刷メディ	のメディ ●・保存・ ア	ア特性・再生の		は域と利用方法 録画のメディア 遊びなど					
	第8週		が記される									
	第9週			作と利用 								
	第 10 週	教材製	と作の方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	法と技術 								
	第 11 週	ビデオ	教材の	製作 								
	第 12 週	OHP 教	材の製作	F								
	第 13 週	パソニ	コンソフ	トの製作	・インタ	7ーネット	・の利用・操作方法	L				
	第 14 週						「しいメディアのヨ V・多重放送・ISD		操作技術 ファイバーケーブ)	レ・マルチ	・メディア	など
	第 15 週	総合課	懇題につい	ハての検	討とまと	:め[、期]末試験]					
指導方法	本授業	どでは、	情報機	器を教	対育の抗	支術によ	りよく利用・	操作?	するための基本	を講義	するとと	きに、
履修上の	その具体											
注意	-								授業を欠席する	る(欠席	ました) ウ	場合、
							示を受けてく: - イサ・ナー ス にけ		ヽ。 ∷リの努力を必∮	亜レ! ⇒	: / Z	羽,街
	習を怠ら					用で分に	-1,11) O ICI9′	ነን.ጥ	いのおりて必っ	女としょ	. 9 。 J'ı	白 15
					•	数員の指	「示する提出方	法お	よび提出期限を	を厳守す	ること。	,
成績評価の	課題(709	る)授	受業態度	₹(30)%)を	基本とします	-				
方 法	ただし	ノ、期末	₹試験で	を実施す	する場	合は、筆	筆記試験(30) %)	課題(40%) 授業	態度(3	0%)
	を基本と	こします	す。期	未試験	の実施	につい	ては、担当教	員の打	指示にしたがっ	てくだ	さい。	
教 科 書							」(実教出版編	修部、	、実教出版)			
				じて指		す。						
参考文献	必要に	こ応じて	て随時	紹介し	ます。							

授業科目	情報機器操作単位数2 担当教員 榎本功子
講義のねら	パソコンの基本的な操作方法と、よく使われるアプリケーションソフトの使い方は、社会人
いと概要	として必要不可欠なものである。幼児教育の現場においても、園だよりやクラスだよりなど、
	さまざまな印刷物を作成したり、教育上必要な情報収集などのスキルが求められる。本講では
	│ まず、コンピューターのしくみ コンピューター用語の解説 アプリケーションソフト (ワー ド、エクセル、インターネットエクスプローラー、メールソフトなど) について解説し、パソ
	「、エフセル、インターネットエッスプローラー、スールブラドなこ)について解説し、バラ コンの基本的な操作法を学ぶ。次いで、ワードによるさまざまな文書の作成法を習得する。
授業計画	コンピューターのしくみ コンピューター用語の解説 アプリケーションソフトの解説 (ワード、エクセル、 第1週 インターネットエクスプローラー、メールソフト)
	ワードの使い方 第2週 文字の入力、簡単な文章の作り方、整え方
	第 3 週 ワードによる文書作成 文字の設定
	第4週 ワードによる文書作成 ワードアート
	第 5 週 ワードによる文書作成 ページ設定
	第6週 ワードによる文書作成 ハガキの設定
	第7週 ワードによる文書作成 表の作り方
	第8週 インターネットの使い方 「行き先を調べる」「路線を調べる」「地図を見る」
	第9週 インターネットの使い方 「保育に使える素材を探し、保存する」
	第 10 週 インターネットの使い方 素材を使って文書を作成する
	第 11 週 メールの送受信とメールの書き方、写真の添付
	第 12 週 多くの人に、一斉にメールを出す(メルマガ、お知らせメール)
	第 13 週 ウイルスの予防と対策
	第 14 週 クリスマスカードの作成
	第 15 週 ポスターを作る
指導方法	実践的な授業なので、未経験者も経験者も、スキルアップを目指して積極的に取り組むこと。
履修上の	
注意	
成績評価の	課題(70%) 授業態度(30%)
方 法	
教 科 書	│ │ 授業に合わせた課題プリントを配布予定。
参考文献	 必要に応じて随時紹介する。

授業科目	英	語	(1)	単位	立数	2	担当教員	中	島	尚	樹
講義のねら	この摂	 受業は、英語で	簡単な	:35:	ュニケー	ーショ	ンがで	きる	ように、実践的	りな英語	語力σ	基礎	を身
いと概要	につける	るのがねらいで	す。具	体的に	こは、E	常生	活の身	近な	話題に関して、	現在	形と過	去形	の簡
	単な英文	てを使って自分	の言い	たいこ	ことが伝	云えら:	れるよ	うに	なることを目指	指しまっ	す。総	合的	なテ
	キストを	を用いて日常場	面で使	きわれる	るやさし	ル英	語表現	を学	び、並行してこ	プリン	トなと	で関	連す
	る文法事	■項を学習して	いきま	きす。ま	また、英	英語学	習の仕	方や	文化的な違いは	こも触る	れたし	しと思	って
	います。	いちから説明	してい	きまき	すから、	これ	までは	英語	が苦手だったと	こいう。	人も短	大で	の英
	語に新た	たな気持ちでチ	ャレン	ジして	ひてく	ださい	۱,						
授業計画	第1週	授業説明					第 16 词		init7 今英語を勉強 現在進行形	iしてい i	ます(前:	半)	
	第2週	Unit 1 日本から Be 動詞の構文		는(前半)			第 17 词	U	nit7 今英語を勉強 現在進行形	している	ます(後	半)	
	第3週	Unit 1 日本から Be 動詞の構文		た(後半)			第 18 词	U	Init7 今英語を勉強 過去進行形	けている	ます		
	第4週	Unit 2 あなたの Be 動詞の疑問		か?(前]半)		第 19 词	U	nit 8 2年間英語を 一般動詞の過去形			(前半)	
	第5週	Unit 2 あなたの Be 動詞の疑問		ナか?(後	注半)		第 20 词		nit 8 2年間英語を 一般動詞の過去形			(後半)	
	第6週	Unit 3 去年アメ Be 動詞の過去		ました	(前半)		第 21 词	U	Init 9 家族で沖縄に 一般動詞の過去形			i半)	
	第7週	Unit 3 去年アメ Be 動詞の過去		ほした	(後半)		第 22 汕		Init 9 家族で沖縄に 一般動詞の過去形			:半)	
	第8週	Unit 4 壁にポス 存在を表す the			(前半)		第 23 汕	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	とめ:一般動詞の 文法問題の練習と				
	第9週	Unit 4 壁にポス 存在を表す the			(後半)		第 24 词	U	nit 10 今年の夏何 未来を表す表現	をします	か?(前	1半)	
	第 10 週	まとめ:Be 動詞 文法問題の練習			形		第 25 词	U	nit 10 今年の夏何 未来を表す表現	をします	か?(後	美半)	
	第 11 週	Unit 5 家で映画 一般動詞の現在		(前半)			第 26 词	U	nit 11 だれが一緒 疑問詞の疑問文	に行きま	₹すか?	(前半)	
	第 12 週	Unit 5 家で映画 一般動詞の現在		广 (後半)			第 27 汕	U	nit 11 だれが一緒 疑問詞の疑問文	に行きま	きすか?	(後半)	
	第 13 週	Unit 6 日曜日は 一般動詞の現る			? (前半)		第 28 词		nit 12 赤ワインを 数量の表し方	一本くた	ごさい(前	前半)	
	第 14 週	Unit 6 日曜日は 一般動詞の現在所			? (後半)		第 29 汕	U	nit 12 赤ワインを 数量の表し方	一本くだ	さい(後	後半)	
	第 15 週	前期期末試験・	まとめ				第 30 词	後	後期期末試験・まと	め			
指導方法	テキス	ストに沿って、	各課の	前半で	では聞き	を取り	、文法	の説	明などを、後半	半では	リーテ	ディン	グ、
履修上の	英作問題	風などをやって	いきま	す。芽	英語が書	引けて.	、話せ	るよ	うになるために	こは、	その誤	で学	んだ
注 意	構文を確	催実に覚えてい	くこと	が非常	常に重要	更です。	。少し	でも	いいので、必ず	ずテキ 2	ストに	出て	くる
	例文を覚	覚えていってく	ださい	1。テキ	トストに	こ付い	ている	C D	を何度も繰り返	をし聞	くのも	56161	でし
		聞き取りの試験							<u> </u>				
成績評価の	筆記試駁	(70%) 記	果題(2	2 0 %) 授業	態度	(10	%)					
方 法													
教 科 書	『 Can-Do English』(妻鳥千鶴子・松井こずえ・稲盛泰代 著、桐原書店)												
参考文献													

授業科目	英	語	(1)	単位数	2	担当教員	須 釜	幸	男
講義のねら	「英語	吾とコンピ	ュータが出来	それば、食い	ハっぱぐれない	۱,	という台詞はな	ブローバル1	化時代	に、
いと概要	より切実	そです。英	語の得意・不	「得意、好る	き・嫌いは置い	17	おき、この授業	業で親しみ7	よがら	英語
							。会話に花咲ん			
			-				、民営化、派遣			
		-					あなたの好感原 ても、丁寧に解			
	J. A.K	-、止 ず で:	ææ ioei		子自力/公尺。	701			: A 9 o	
授業計画	第1週	前期ガイダ	゚ンス		第 16 週	缓	 食期ガイダンス			
	// o \ P	7			77. 4= VE					
	第2週	TOEIC Pa	art 1 の解説・演	習(基礎編)	第 17 週	Т	OEIC Part 1 の解	解説・演習(応 	用編)	
	第3週		art 2 の解説・演		第 18 週	Т	OEIC Part 2 の解	解説・演習(応	用編)	
	第4週	TOEIC Pa	art 3 の解説・演	習(基礎編)	第 19 週	Т	OEIC Part 3 の解	解説・演習(応	用編)	
	第5週	TOEIC Pa	art 4 の解説・演	習(基礎編)	第 20 週	Т	OEIC Part 4 の制	解説・演習 (応	用編)	
	第6週	TOEIC Pa	art 5 の解説・演	習(基礎編)	第 21 週	Т	OEIC Part 5 の制	解説・演習(応	用編)	
	第7週	TOEIC Pa	art 6 の解説・演	習(基礎編)	第 22 週	Т	OEIC Part 6 の解	解説・演習(応	用編)	
	第8週	TOEIC Pa	art 7 の解説・演	習(基礎編)	第 23 週	Т	OEIC Part 7 の解	解説・演習(応	用編)	
	第9週	上半期のま	とめ		第 24 週	1	_半期のまとめ			
	第 10 週	時事英語			第 25 週	B	事英語			
	第 11 週	時事英語			第 26 週	B	事英語			
	第 12 週	時事英語			第 27 週	B	事英語			
	第 13 週	時事英語			第 28 週	Bŧ	事英語			
	第 14 週	下半期のま	とめ		第 29 週	Ŧ	半期のまとめ			
	第 15 週	前期授業全	体のまとめ・補	足、試験	第 30 週	後	後期授業全体のまと	め・補足試験		
指導方法							欲的な学習を期	-		
履修上の							文化や歴史を知			
注			か古手にと思 ることをお勧		大四で成行、	录事	、ファッション	ノはこ、こ	ノしに	部刀
成績評価の	筆記試験	美(50%) 授業態度	(50%)						
方 法										
教 科 書	初講時に	指定しま [・]	す 。							
参考文献	初講時に	:指定しま [・]	す 。							

授業科目	英	語	(2)	単位数	2	担当教員	須 釜	幸	男
講義のねら	「英語	語とコンピ:	ュータが出来	れば、食い	1っぱぐれな	ر ۱ يا	という台詞は?	ナローバルイ	七時代	に、
いと概要	より切実	ミです。 英語	語の得意・不	得意、好き	き・嫌いは置	いて	おき、この授業	業で親しみな	よがら	英語
							。会話に花咲ゟ			
			-				、民営化、派遣			
		-					あなたの好感原 ても、丁寧に解			
	J. A.K.	-、 止 ず C %	OS TOLK		子自力なに	J ()		find CVIC	: A 9 o	
授業計画	第1週	前期ガイダン	ンス		第 16 退	1 4	 後期ガイダンス			
	答っ:田				\$\$ 4.7.2E					
	第2週	TOEIC Pa	urt 1 の解説・演習 	a(基礎編) 	第 17 退		OEIC Part 1 の角	¥説・演習(心	用編) 	
	第3週		urt 2 の解説・演習		第 18 退	Т	OEIC Part 2 の角	解説・演習(応	用編)	
	第4週	TOEIC Pa	urt 3 の解説・演習	習(基礎編)	第 19 退	Т	OEIC Part 3 の角	解説・演習 (応	用編)	
	第5週	TOEIC Pa	ırt 4 の解説・演習	習(基礎編)	第 20 退	Т	OEIC Part 4 の角	解説・演習 (応	用編)	
	第6週	TOEIC Pa	urt 5 の解説・演習	習(基礎編)	第 21 退	Т	OEIC Part 5 の角	解説・演習(応	用編)	
	第7週	TOEIC Pa	ırt 6 の解説・演習	習(基礎編)	第 22 退	Т	OEIC Part 6 の角	解説・演習 (応	用編)	
	第8週	TOEIC Pa	ırt 7の解説・演習	習(基礎編)	第 23 退	Т	OEIC Part 7 の角	解説・演習(応	用編)	
	第9週	上半期のまる	とめ		第 24 退]]	=半期のまとめ			
	第 10 週	時事英語			第 25 退) B	寺事英語 			
	第 11 週	時事英語			第 26 退] 8	持事英語 			
	第 12 週	時事英語			第 27 退] 8	寺事英語 			
	第 13 週	時事英語			第 28 退] 8	寺事英語 			
	第 14 週	下半期のまる	とめ		第 29 退	ן ו	「半期のまとめ			
	第 15 週	前期授業全体	体のまとめ・補足	、試験	第 30 退	1 1	炎期授業全体のまと	め・補足、試験	倹	
指導方法							欲的な学習を期	-		
履修上の					-		文化や歴史を知る			
注 意 		-					、ファッション 活動の学年です			
							⊿動のチヰで: すのでご安心下		シュ時	* □ 7
成績評価の) 授業態度(
方 法										
教 科 書	初講時に	指定します	 す。							
参考文献	初講時に	指定します	f .							

122 NK 47 LD		V4 (4) ++ ++	+ ÷ w	V/ / W/-	- +D \ / +/- B		70. J.				
授業科目		楽(1)基 碌		—	2 担当教員	田口	雅夫				
講義のねら		な育者として必要な - z	は音楽の基礎知語	戦を学ぶと共に、	、音楽の指導技術	を身につける	ることを				
いと概要 	目的とする	っ。 a、前期には数多 [、]	くの童謡を歌い、	童謡の意義・	歌唱法・伴奉法領	等を学び、後	期には、				
		されて指導技術を			3. 4.2.		,				
		ぬ立した授業として	てあるピアノの	寅奏技術を高め	る為にリズムト	レーニングも	取り入れ				
	る。										
授業計画	第1週	楽譜の読み方		第 16 週	等速のリズムに付け	る合奏					
	第2週	楽譜の読み方・リズ	ム唱について	第 17 週	合奏曲の選曲につい	ıT					
	第3週	 楽譜の読み方・リズ』 	ム唱の応用	第 18 週	音程楽器を含む編曲	方法					
	第4週	楽譜の読み方・リズ	ムトレーニング	第 19 週	伴奏楽譜を使用した編曲						
	第5週	童謡についての理解		第 20 週	コードネームを使用	した編曲					
	第6週	保育現場の歌唱につい	,1T	第 21 週	オリジナル編曲						
	第7週	童謡の歌わせ方		第 22 週	グループによる編曲	l					
	第8週	童謡の伴奏方法につい	li T	第 23 週	自分達の編曲を発表	とディスカッシ	ョン				
	第9週	集団の伴奏方法の実施	践	第 24 週	リトミックの説明						
	第 10 週	模擬伴奏練習		第 25 週	短いこどもの言葉の	採譜					
	第 11 週	三和音の理解から、I	即興伴奏の説明	第 26 週	記譜をしないメロテ	・ィーの演奏法					
	第 12 週	即興伴奏の実践		第 27 週	園等で使用されてい	る楽譜の取り扱	いについて				
	第 13 週	合奏について		第 28 週	ピアノ伴奏の復習						
	第 14 週	リズム楽器について		第 29 週	即興伴奏の復習						
	第 15 週	簡単な曲に付けるリ	ズムの理解	第 30 週	まとめ						
指導方法		容を理解出来なり		こくありません。	. 質問を歓迎しま	इ. क					
履修上の 注 意		閉外でもかまいま □の私語は真面目Ⅰ	•	老にレって沙哉	です 幼旧数容=	セレー・アの姿	哲士門か				
		ので、厳しく注意		日にこりて述念		a C U C U A	. 員 () 同17				
 成績評価の	レポート(30%) 実技(30%) 授業態度(40%)										
方 法											
 教 科 書	『実用こ	こどものうた』(田	口雅夫・高崎和	子共編、カワイ	 ´出版社)						
		·									
参考文献	特にあり)ませんが、プリン	ノトを配布します	;							

授業科目	図		I	作	単位数	2	担当教員	 染 谷		*	
講義のねら							 解し展開するた				
いと概要		必要な基礎的な知識・技術・教養などの美的資質を高めることを目的とする。									
授業計画	第1週	授業の主旨説明	明 出席カー	ドの作成	第 16 週	l 身	近なものを使って	つくる (作	品発表))	
	第2週	造形活動の意	養と目的		第 17 週	İΔ	生体表現の基礎(彫	塑について)			
	第3週	子どもの造形	表現についての	の理解	第 18 週	! 細	粘土で動物を作る	(芯)			
	第4週	子どもの造形	表現について(の理解	第 19 週	! 組	粘土で動物を作る 	(肉付け)			
	第5週	描く表現の基	礎(描学材料	料について)	第 20 週	! 細	粘土で動物を作る	(着色)			
	第6週	描く表現の基	礎(形のと	らえ方と表現)	第 21 週	l #	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	のしくみ			
	第7週	描く表現の基础	楚(色彩につ	-	第 22 週	<u>,</u>	ード制作 (試作)			
	第8週	描く表現の基础	楚(色彩につ	,IT)	第 23 週	l b	ード制作 (本紙)			
	第9週	自分を見つめて	て描く (線描	i き)	第 24 週	<u>,</u>	ード制作 (本紙)			
	第 10 週	自分を見つめて	て描く (着色	.)	第 25 週	! 切	いがみ				
	第 11 週	自分を見つめて	て描く (着色)	第 26 週	! 版	画表現の基礎				
	第 12 週	石ころに絵を	描く		第 27 週	! 細	版画 (原画)				
	第 13 週	つくる表現の	基礎(工作	・工芸について	第 28 週	<u>!</u> #8	版画 (版)				
	第 14 週	身近なものを位	吏ってつくる		第 29 週	! <u>#</u> B	版画 (刷り)				
	第 15 週	身近なものを何	使ってつくる		第 30 週	l ±	とめと自己評価				
指導方法の意成績評価の法	・創作活動が中心となるため、自ら考え見つめ手を動かさない限り、時間ばかり経過し何も生まれてはこない。課題に対しての準備や、制作の遅れを補うなど完成度の高い作品づくりをめざす。描画材料、素材、用具等は開講ごとに指示するので忘れずに用意する。(スケッチブック・アクリル絵の具セットは一括購入する(約3,000円)。それ以外については必要に応じて各自で購入する。) 作品(60%)、授業態度(40%)									りを チブ	
教 科 書	-	\造形表現』(形表現研究会	会、圭文社)						
参考文献	必要に応	びて案内する	る。								

	1				1		•	ſ	1
授業科目	幼	児	体	育	単位数	数 2	担当教員	茗井	香保里
講義のねら	人生の	土台づくり	にあたる幼	カ児期に、ゴ	正しい動	き方を:	身につけたり、	運動するこ	との楽しさ
いと概要	を味わわ	せたりする	ことは、約	カ児の運動網	経験や健	康生活:	を豊かに充実さ [・]	せるだけで	なく、これ
	からの長	い人生を社	会とのかれ	いわりのなれ	かでバラ	ンスよ	く生きていく力	の基礎づく	りとしても
							、ユこマママスクラ イフキャリア発		
		-						生の元点が	·5、AJJL07
		りと運動あ [.]						+	
			の中にめる	5連動めて	ひを中心	に剧道	性、感性および	表現刀を豈	がにするよ
	うな内容	としたい。							
授業計画	第1週	心と身体の	の解放		第	16週	基本の運動		
	第2週	「曲線」の	身体表現		第	17週	簡単なルールの	ある運動ある	そび
	第3週	「直線」の	身体表現		第	18週	簡単なルールの	ある運動ある	そび
	第4週	「曲線」+	「直線」の身	体表現	第	19週	縄を使った運動	かあそび	
	第5週	空間につい	,1T		第	至20週	縄を使った運動	かあそび	
	第6週	動きのリン	ズムと表現		第	至1週	フープを使った	=運動あそび	
	第7週	イメージ。	と表現		第	至22週	フープを使った		
	第8週	ビデオ鑑賞	賞		第	至3週	ボールを使った	:運動あそび	
	第9週	作品の創作	作(1)		第	至24 週	ボールを使った	⊏運動あそび」	
	第 10 週	作品の創作	作(2)		第	5 25 週	生活用品を使っ	った運動あそび	ў.
	第 11 週	作品の創作	作(3)		第	5 26 週	生活用品を使っ	った運動あそび	۲
	第 12 週	作品の創作	作とまとめ (4)	第	至27週	マットを使った	に運動あそび	
	第 13 週	作品発表:	会		第	至28週	マットを使った	に運動あそび	
	第 14 週	作品発表	ビデオ鑑賞		第	9 週	リズミカルな道	重動あそび	
	第 15 週	まとめ			第	30 週	まとめ		
指導方法		を記録用紙	に記入する	, ,					
履修上の	出席重視	•							
注 意	体操着を	着用のこと。	,						
	運動靴を	はき、裸足、	、スリッ/	『履きでは、	受講しな	よいこと	<u>L</u> 。		
	意欲、関	心 、はプラ.	スポイント	とする。					
成績評価の	レポート	(50%)	課題(2	0%) 授業	業態度(3	3 0 %))		
方 法									
教 科 書	『子ども	の運動・表現	現遊び ~	動きを通し	して育む心	ンとから	らだ~』(宮下恭	子他、大学	空書出版)
参考文献	『保育と	幼児期の運	動あそび』	(岩崎洋子	·編、萌文	書林)			

授業科目	7	じ ナ の	10 17	/ #	74 / 2	**	4	+D 小 #> =	=	#	TER	±
		どもの			単位		4	担当教員		角 		恵
講義のねらい と概要		背に必要とされ −発達及び子ど										
VI C 1W, Q		れば及じすこ こいけるような										
	性・援助	かについては、	園で気に	こなる子ど	もとして	こ、より	具体	体的な知識の習	3得を	目指す	。後	期で
		月で学んだ知識 *について栄ご		こし、子ど	もが罹り)やすい	\病気	i、おこりやす	ナい事	故、 愿	染予	防、
	写	建について学ぶ。	0									
授業計画	第1週	子どもの健康と促	呆健の意義			第 16 週	子	どもの健康状態の	把握			
	第2週	子どもの身体発育	育			第 17 週	体記	調のよくない子ど	もへのタ	応		
	第3週	子どもの身体発育	育			第 18 週	子	どものかかりやす	い病気			
	第4週	子どもの運動機能	能の発達			第 19 週	感	杂の予防 				
	第5週	子どもの運動機能	能の発達			第 20 週	子	どものかかりやす	い病気			
	第6週	子どもの生理機能				第 21 週	子と	どものかかりやす 	い病気			
	第7週	子どもの生理機能	能の発達			第 22 週	子	どものかかりやす	い病気	·····		
	第8週	子どもの感覚器の	の発達			第 23 週	子	どものかかりやす	い病気			
	第9週	子どもの感覚器の	の発達			第 24 週	子	どものかかりやす	い病気			
	第 10 週	子どもの精神機能	能の発達			第 25 週	子	どものかかりやす	い病気			
	第 11 週	子どもの精神機能	能の発達			第 26 週	子	どもの事故				
	第 12 週	子どもの心の健康	秉			第 27 週	子	どもの事故				
	第 13 週	子どもの心の健康	秉			第 28 週	保育	育環境 				
	第 14 週	子どもの食と栄養	奏			第 29 週	母	子保健と保育				
	第 15 週	まとめ・テスト				第 30 週	まる	とめ・テスト				
指導方法	・テキス	トを中心に、	資料、ワ	リークシート	ト、視聴	覚教材	等も	使用して講義	を行う	٥.		
履修上の		いたプリント				イリン	グす	るなど各自で	整理し	てお	くこと	-0
注	・授業サ	7の私語、飲食	、携市電	1話は崇止。	•							
成績評価の	第 記 + + 1 = 1	後(80%) 授	4. 安米 作	(1006)	. . !. º -	L (1	0.04	`				
成績評価の 方 法	半心机物	₹ (O U %0), 13	文 耒忠反	(10%)	・レ が一	Γ(1	0 %)				
教 科 書	『これた	ごけはおさえた	い!保育	育者のための	の子ども	の保健	<u>a</u> ((鈴木美枝子紅	遍著:	創世천	t)	
参考文献	随時、資	資料を配布する。	•									

	T						
授業科目	子	どもの	保健	単位数	4 担当教員	石 田	徹
講義のねら	小児σ)成長・発達過和	呈を正しく把握し	た上で身体的・	社会的・心理的な	:健康を保持	・増進す
いと概要	るために	こ、保育現場には	らいて要求される	小児保健上の知	識について学習す	る。保育者(の初期対
	応が、孚	し幼児の将来の係	建康に関わる重要	な意味をもつこ	とを理解し、専門	職として正り	ノく健康
	管理が実	ミ践できるように	なることを目標	とする。			
	本科目	目の到達目標は、	子どもに関わる	専門職として必	V要な保健の知識を	習得し、日常	常の保育
	現場にお	おける健康の保持	持・増進および健 /	康問題に対する	適切な対応が理解 ⁻	できることで	`ある。
		ı			ı		
授業計画	第1週	子どもにとっての	健康と小児保健の意義	第 16 週	小児期の病気の特徴		
	第2週	小児保健の諸統計 人口動態と母子保	からみる小児の健康問 健統計	題 : 第17週	小児期の病気と家族す	支援	
	第3週	小児保健の諸統計 小児期に関する統	からみる小児の健康問 計	題 : 第18週	小児の健康問題と看記	蒦 :感染症	
	第4週	小児の発育・発達	と評価 : 身体発育	第 19 週	小児の健康問題と看記	雙 :予防接種	
	第5週	小児の発育・発達	と評価 :体温、呼吸	、循環 第 20 週	小児の健康問題と看記	隻 :呼吸器・循	5環器疾患
	第6週	小児の発育・発達	と評価 :排泄、睡眠	等 第21週	小児の健康問題と看記	隻 :アレルギー	-疾患
	第7週	小児の発育・発達	と評価 :脳神経系の	発育 第 22 週	小児の健康問題と看記	雙 :消化器疾患	<u>.</u>
	第8週	小児の発育・発達	と評価 :運動機能の	発育 第 23 週	小児の健康問題と看記	隻 :外傷	
	第9週		と評価 :感覚機能の	発育 第 24 週	小児の健康問題と看記	隻 :精神疾患	
	第 10 週	小児の発育・発達	と評価 :言語・情緒	の発育 第 25 週	小児の健康問題と看記	僕 :その他の物	患
	第 11 週	小児の発育・発達	と評価 : 社会性の発	育等 第 26 週	主な症状と看護(発熱	热、下痢、嘔吐、	痙攣等)
	第 12 週	小児の発育・発達	と評価のまとめ	第 27 週	集団保育と安全管理		
	第 13 週	小児の栄養と健康	: 歯の発育と健康管	理 第 28 週	子どもの精神保健		
	第 14 週	小児の栄養と健康	: 乳幼児の栄養と保	第 29 週	乳幼児精神保健:愛着		
	第 15 週	前期試験と前期の	まとめ	第 30 週	後期試験と後期のまと	こめ	
指導方法	意欲的に	:授業に参加し、	質問等があった。	ときは積極的に	質問をすること。		
履修上の	授業中に	は、積極的に、	/ートテイキング	を行うこと。			
注意	常に、子	どもの保健に関	関するニュース等	に関心を向ける	こと。		
成績評価の	筆記試験	(50%)課	題(30%) 授	業態度(20%)		
方 法							
# 1/1 *	B - 7 1 1 1	о /П // *	## *	4.1. 争户、			
教 科 書	『子ども 	5の保健 』(佐	藤益子 編著、な	なみ書房)			
参考文献	参老立品	光等に関してけ					
	ショス間		18本の上で週刊	NH/I ⊅ 0 /0			

								1			
授業科目	社	会	福	祉	単位数	2	担当教員	小	堀	哲	郎
講義のねら							祉の専門職ので				
いと概要							する仕事、ある				
							した従来からの				
				て、現在は位	保育士に社会	福祉	の専門家として	ての働る	きが期	待さ	れる
		こってきてい	-				a				
							ーズに即したネ				くた
按张礼丽	のに必要	な基礎的知	識を、局略	省価値やす	也球価値など	七宫の	かた広い視野か	り字ん	でも	らつ。	
授業計画	第1週	社会福祉専門	間職としての保証	育士							
-	第2週	社会福祉の概	括念								
	第3週	社会福祉の歴	建								
	第4週	社会福祉の体	本系								
	第5週	社会保障の理	L 念								
	第6週	社会保険・所	行得保障								
	第7週	生活保護									
	第8週	子どもと家庭	≦の福祉								
	第9週	障害のある人	の福祉								
	第 10 週	高齢者の福祉	Ł								
	第 11 週	地域福祉								***************************************	
	第 12 週	社会福祉の専	見間 と倫理								
	第 13 週	社会福祉の名	後の課題								
	第 14 週	社会福祉関連	直法規								
	第 15 週	試験・まとめ	<u> </u>								
指導方法	講義を中	心に進める	, <u> </u>								
履修上の											
注 意											
	AA-1-1-1-4			*** n+ 1 /- >	1 -19 1		`				
成績評価の	聿 記試験	(60%)	、毎回の授詞	葉時に行う	レポート (4	10%)				
方 法											
教 科 書	『차수淖	补論。(F	 田衛編、大 ^宝	学図書出版)						
7A 17 E	上厶作	· ···································	(+u Mm) / / / -	,一日山水							
	授業中に	適宜紹介す	 る。								

ᄧᄣᄭᄆ	10			÷ ÷	- A.I	224 /2 244	0	+0.1/.*/- 0	+ '# E	 ★
授業科目	児	童		庭 福		単位数	2	担当教員	志濃原	亜美
講義のねら いと概要						における児童! 的なことを学		畐祉の意義を理	解する。その)うえで、
いこ版女								のある児童のタ	付応などをは	じめとす
	•							庭福祉と保育(
	擁護など	ごについ	て理解	を深める	0					
授業計画	第1週	オリエ	ンテーシ	ョン						
	第2週	児童家	庭福祉の	理念と概念						
	第3週	編第社	会と児童	家庭福祉						
	第4週	児童家	庭福祉の原	歷史的変遷						
	第5週	児童家	庭福祉の	と保育						
	第6週	児童家	庭福祉の	制度						
	第7週	児童家	庭福祉の	法体系						
	第8週	児童家	庭福祉と	児童福祉施	设等					
	第9週	少子化	と子育て	支援サービ	ス					
	第 10 週	児童虐	待・ドメ	スティック	バイオレンス	1				
	第 11 週	児童虐	待・ドメ	スティック	バイオレンス	2				
	第 12 週	障害の	ある児童	への対応						
	第 13 週	次世代	育成支援。	と児童家庭	福祉の推進					
	第 14 週	諸外国	の動向							
	第 15 週	定期試	験							
指導方法			引・二ュ	.ースその	他のメデ	ィアを通して	児童	家庭福祉の問題	題や課題につ	いて関心
履修上の 注 意	をもつこ	こと。								
成績評価の 方 法	筆記試験	€ (60)%) l	ノポート	(20%)	課題(10	% <u>)</u>	授業態度(1	0 %)	
教 科 書	『新	く うくれ こうれい こうれい こうない こうない かいしん おいま かいしん おいま かいしん おいま かいま かいま かいま しゅう かいま しゅう かいま しゅう かいま しゅう しゅう かいま しゅう かいま しゅう	イブラリ	児童家	《庭福祉』(北大路書房)				
参考文献	『最新保	保育資料	斗集 201	2』(ミネ	ルヴァ書	房)				
	参考文献	#は適宜	国紹介す	る						

授業科目	児	 童	 家	庭福	<u></u>	単位数	2	担当教員	村田	久
 講義のねら	戦後、	<u>著し</u>	············ \経済成	長と共に	わたしたす	 5の生活は大	きく	<u> </u> 変化してきた。	<u> </u> 家族のライ	フスタイ
いと概要	ルが多様	後化し、	それに	ともなっ	て、当然I	こ子どもを取	り巻	く環境に変化が	が生まれてき	ている。
								ていく中で、i		
								それに伴い、イ 援が求められる		
								を理解し、児童		
	の実践に	こついて	ての基礎	的な知識	を習得する	ることを目的	とし	ている。児童に	こ関する問題	に積極的
拉米丰富	に取り組	しんでし	けるよ	う、地域	におけるさ	まざまな事	象や同	問題について理	と解を深める。	,
授業計画	第1週	児童福	祉を学ぶる	ことの意義						
	第2週	児童福	祉に必要	な視点						
	第3週	子ども	の権利保障	障の歴史的展	開					
	第4週	児童福	祉法の展	開						
	第5週	児童福	祉の相談	機関と施設						
	第6週	保育に	関する動	句と福祉サ−	・ビス					
	第7週	児童健	全育成に	関する動向と	福祉サービ	ス				
	第8週	障害の	ある子ど	もの福祉						
	第9週	自立支	援サービ	スの制度と実	際					
	第 10 週	ひとり	親家庭に	関する動向と	福祉サービ	Z				
	第 11 週	児童虐	待に関す	る動向と福祉	Ŀサービス					
	第 12 週	学校生	活環境の	動向と福祉も	トービス					
	第 13 週	国際社	会と児童	福祉						
	第 14 週	子育て	支援施策(の動向						
	第 15 週	試験								
指導方法	講義を中	心に行	īう。							
履修上の注 意										
成績評価の	筆記試験	€(50)%) 持	受業態度 (50%)					
方 法										
教 科 書	『児童福	ā祉』(『	植木信	一、北大路	八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八					
参考文献										

授業科目	 音 楽 (1) ピ	アノ単位数	2 担当教員	田口雅夫・大平五百子他							
講義のねら	この授業では、幼児教育ま										
いと概要	を習得します。										
运 类 卦 面											
授業計画	第1週 オリエンテーション	第 16 退	曲目番号 15~17								
	第2週 曲目番号 1	第 17 退	" 18~20 (〔童謡テキスト併用)							
	第3週	第 18 退	¶ 21 ~ 23								
	第4週	第 19 退	" 24~26								
	第5週	第 20 退	g " 27~29								
	第6週 " 5	第 21 退	¶ ″ 30 ~ 32								
	第 7 週	第 22 退	y 33 ~ 35								
	第 8 週	第 23 退	" 36~38								
	第 9 週	第 24 退	" 39 ~ 41								
	第10週 "9	第 25 退	<u>"</u> 42 ~ 44								
	第11週	第 26 退	" 45 ~ 48								
	第12週 # 11	第 27 退	追加曲 1								
	第13週 # 12	第 28 退	追加曲 2	, 3							
	第 14 週	第 29 退	追加曲 4	, 5							
	第 15 週	第 30 退	テスト								
指導方法 履修上の 注 意	個人レッスンが原則である 学生の進度に応じて後期は重 続けて履修する。										
成績評価の 方 法	学年末実技試験 (50%) E	日常レッスンにおける取り	組み (50%)								
教 科 書	『ピアノ教則本』〜短期間で 『実用こどものうた』(田口・	-	フイ出版)								
参考文献	授業内で指示										

	l <u>.</u> .					T		T	
授業科目			2) ピ		単位数		担当教員	田口雅夫	他
講義のねら	-	-						奏技術と応用力で	
いと概要								を学びます。ま <i>†</i> よう、『実用こる	
				ハロメのと たいきます。		NIH		5), ×/11 C	_ 00
授業計画	第1週	オリエンテ	ーション		第 16	週	『実用こどものう <i>†</i>	⊂a p 4 2 ~ 7 1	
	第2週	『実用こと	ごものうた』p	8 ~ 3 9	第 17	週	II		
	第3週	"			第 18	週	n.		
	第4週	"			第 19	週	"		
	第5週	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			第 20	週	II .		
	第6週	"			第 21	週	"		
	第7週	"			第 22	週	n.		
	第8週	"			第 23	週	"		
	第9週	"			第 24	週	n .		
	第 10 週	"			第 25	週	II .		
	第 11 週	"			第 26	週	II .		
	第 12 週	"			第 27	週	"		
	第 13 週	"			第 28	週	"		
	第 14 週	"			第 29	週	"		
	第 15 週	テスト			第 30	週	テスト		
指導方法								上達のポイントの	
履修上の		 ードネー	ム等に関す	「る参考文献	は、その場	こ応	じてサブテキス	トとしてコピーで	を配布
注意	します。								
成績評価の			•		日常の授業に	おけ	ける演奏(30%	%)、	
方	進度及び 	字省曲数	(20%)						
教 科 書	『実用こ	どものう	た』(田口	・高崎編、	カワイ出版)				
参考文献	授業内で	"指示							

	ı				1									
授業科目	国	語	教	育	単位数	2	担当教員	秋	Щ	智	美			
講義のねら							は初等国語教育							
いと概要							に触れる機会を							
		いである。 こうに支援す				.対し	て適切な方法で	ご、目3	然とは	語力	か身			
				-		!に国!	語教育をすべる	きか、 ;	またと	でん	うな			
					交国語教育に			•						
授業計画	第1週	指導の実際												
	第2週	指導の実際	指導の実際											
	第3週	指導の実際	i導の実際											
	第4週	教材研究 (班	材研究 (班決めと予定)											
	第 5 週	教材研究 (制	作)											
	第6週	教材研究 (制	作)											
	第7週	教材研究 (制	作)											
	第8週	教材研究 (発	表)											
	第9週	映像教育 - 民	活や伝承に親	しむ										
	第 10 週	幼児とことば	遊び											
	第 11 週	幼児とことば	遊び											
	第 12 週	ことばの指導												
	第 13 週	ことばの指導												
	第 14 週	書くこと、読	むことの指導	- 小学校学習	指導要領から									
	第 15 週	まとめ												
指導方法	講義と教	対研究(絵	本の制作)	をおこな	D .									
履修上の														
注意														
 成績評価の	課題の制	 川作と発表(30%)	レポート (30%) 授	業態度	复(40%)							
方 法		`	-	·			-							
教 科 書	『小学校 	文学習指導要 [。]	領』(文部	科学省、財	務省印刷局)									
A	1	 :												
参考文献	授業内で	授業内で必要に応じて紹介する。												

授業科目	玉	語	———— 教	———— 育	単位数	2	担当教員	高原	典	子
講義のねら	国語教	対育は大学の	 学業にとっ	ても、実習	- ・ボランテ <i>-</i>	ィア・	 就職などの活	<u></u> 動にとっ [*]	ても、訪	売む・
いと概要	書く・語	話す・聞くとい	ハう言語表	現を磨くた	めに大変重	要です	す。			
	本科目	では、実践的	な場面で	も役に立つ	ように敬語表	₹現・	お礼状などの	手紙の書き	方・作	文の
	しかた・	メールのマ	ナーなどを	学び、媒体	本や相手に適	した	国語表現ができ	きるように	なるこ	とを
	目指しま	ます。 さらにん	保育におけ	ける子ども違	達への国語教	育に	も役立つように	こ、日本の	すぐれ	た少
	年詩を訪	もみ味わい、₹	子ども達と	:口ずさめる	ような演習	も行い	います。			
授業計画	第1週			残における少 ^会 な詩 新美南吉						
	第2週		教科書 P27 げさむ自然の記		火「お月夜」					
	第3週		∠応用(教科 げさむ自然の		€「おちばのう た	: :				
	第4週		(教科書 P35 げさむ自然の		こまみ「ちらちら	。 ゆき	ı			
	第5週			詩 サトウ <i>/</i>	\チロー「春にな					
	第6週		5 (教科書							
	第7週		L状を書く演習	_ 						
	第8週	子どもと口す	(教科書 P52 げさむ自然のi	詩 川崎洋	「たんぽぽ」					
	第9週	子どもと口す	げさむ自然の記		子「きのうのかt	ざは 」				
	第 10 週		たついてのか ずさむ自然の記	小テストとまる 詩 鶴見正え	≤め Է「あめのうた」 ·············	l 				
	第 11 週	作文の基礎と								
	第 12 週	推敲のポイン 子どもと口す		詩 村山籌子	「もしもあめのだ	いわりに	Z ,			
	第 13 週	子どもと口す	げさむ愉快な詞	詩 谷川俊太郎	語表現 (教科書 『「おならうた」					
	第 14 週				語表現 (教科書 「おめでとうのい					
	第 15 週	総括								
指導方法	本科目	では毎週教和	斗書を使用	しますので	、忘れない	ように	こ準備して下さ	l 1.		
履修上の							す。学習のまる		-	
注意			図ることを	目指します	けので、各自	ワー	クシートを基に	こ授業の復	習を着	実に
	行ってく	(ださい。								
 成績評価の	筆記試驗	₹(40%)	授業中の/	小レポート	(40%)	授業制	態度(20%)			
方 法	, ,,_,,	,								
教 科 書	『保育学	生のためのぽ	実践国語演	習』(原田	留美著、おう	うふう)			
参考文献							いらの国語表現	の実践』(樺島忠	夫他
	著 京都	『書房)『日本	語の作文技	支術』(本多	3勝一著 講	談社))			

授業科目	数	里	教 育	単位数 2	担当教員	中村陽一								
講義のねら						のかかわりの中で、さ								
いと概要						ら無理なく自発的に、								
			が身につくよう			-								
						心を引き出す環境設定								
		で、援助の仕方 いても学ぶ。	について考えて	いく。さらに小	字校字省指導要等	領と、小学校算数科の								
	恢安にプ	いても子が。												
授業計画	第1週	幼稚園教育要領に	示されている数量・図	形の取り扱い										
	第2週	人間は数をどのよう	うに認識していたか											
	第3週	幼児の日常生活と数	枚量認識											
	第4週	幼児が日常で使う数	対について ~ 個数・	順序数 ~ 										
	第5週	幼児が日常で使う数	対について ~連続数	・比較数・記号数~										
	第6週	数と遊びの事例研究	₹ 3 歳児											
	第7週	7週 数と遊びの事例研究 4歳児												
	第8週	数と遊びの事例研究	₹ 5 歳児											
	第9週	小学校算数科学習指	旨導要領の概要											
	第 10 週	小学校算数科の概要	要 第1学年											
	第 11 週	小学校算数科の概要	更 第2学年											
	第 12 週	小学校算数科の概要	要 第3学年											
	第 13 週	小学校算数科の概要	要 第4学年											
	第 14 週	小学校算数科の概要	要 第 5 学年											
	第 15 週	小学校算数科の概要												
指導方法					用いる。「自分な	らどうするか」という								
履修上の	問題意識 	を持って授業に	臨むことが大切。											
注 意 														
 成績評価の	加末試験	i (70%) /\=	テスト(30%)											
が傾計画の法	**ログト直以前失	(人) () () () () () () () () () () () () ()	, VI (3040)											
,, ,,														
教 科 書			-		省・厚生労働省、	チャイルド本社)								
	『幼稚園教育要領解説』(文部科学省、フレーベル館)													
全			(文部科学省、財	務省印刷局)										
参考文献	技美甲に	:紹介する。												

授業科目	子 ど も の 食 と 栄 養 単位数 2 担当教員 平山素子・土屋治美
講義のねら いと概要	子どもを取り巻く食環境を把握し、胎児期から思春期における心身の発育発達と栄養・食事との関係を理解する。実習を通して、子ども一人ひとりの食に対する心理状態や摂取状況を観察し、適切な食事の提供と介助、さらには食生活のあり方について援助できる力を身につけることを目的とする。 授業を通して、自身の望ましい食生活の構築にも取り組んで欲しい。
授業計画	第1週 食べることの意義と栄養・食品の知識
	第2週 子どもの発育と栄養
	第3週 乳児期の栄養と食生活 a. 授乳期の栄養と食生活
	第4週 調理の基本、調乳 ・・ 調理実習1
	第5週 b.離乳期の栄養と食生活 離乳期の特徴と進め方 (5,6か月頃、7,8か月頃)
	第6週
	第7週
	第8週
	第9週 幼児期の栄養と食生活
	第 10 週 お弁当、間食 ・・ 調理実習 4
	第 11 週 行事食 ・・ 調理実習 5
	第 12 週 児童福祉施投の栄養と食生活
	第 13 週 障害をもつ子どもの栄養と食生活
	第 14 週 学童期 (思春期) の栄養と食生活
1K ># - >1	第15週 妊娠・授乳期の栄養と食生活
指導方法履修上の注意	講義:教科書・配布資料に基づき、視聴覚教材も取り入れて授業を行う。 実習:デモンストレーションを行った後、班毎に実習を行う。
成績評価の 方 法	レポート、筆記試験(60%) 授業態度(40%)
教 科 書	『子どもの食と栄養』(岡﨑光子 編、光生館) 『新版 子どもの食生活-栄養・食育・保育-』(上田玲子 編、ななみ書房)
参考文献	『子どもの食事』(根岸宏邦 著、中央公論新社)

授業科目		新	単位数	2	担当教員	平	山 素	子					
講義のねら	 食育基本法が施行され、	 保育園、幼稚園	L 記においてキ	 ,積極的	に食教育を	<u>L</u> 行うこと	上が求め	られて					
いと概要	いる。 食の営みは生き												
	しかし、昨今では、飽食												
	面で我々の生活に変化が												
	的に演出するのかは、ま は何か」という基本的な												
	段について学ぶ。	11年で、 京、ので		, , C, C /J	DICE IF S		- C & IA	, LOT					
授業計画	第1週 食教育の目的と必要	生											
	第2週 食教育の方法												
	第3週 小児期の食をめぐる	問題を考える 1	. 食物アレルギ-	-									
	第 4 週	2	.欠食										
	第 5 週	3	.孤食										
	第6週	4.	.食習慣										
	第 7 週	5. 歯磨きと虫歯											
	第 8 週	6	.咀しゃく										
	第9週 子どもの発達に即し	た食教育を考える 1	.食のマナー										
	第 10 週	2.	. 食と栄養の知詞	哉									
	第 11 週	3	.偏食										
	第 12 週	4.	.調理保育										
	第 13 週 保護者への啓発の方	去											
	第 14 週 媒体作成 - 給食便り												
	第 15 週 まとめ												
指導方法	配布資料を用いた授業との												
履修上の	授業の中で随時ディスカッ	ッションを行うの	で、積極的	に参加	して欲しい。								
注意													
成績評価の	課題(60%)授業態度	(40%)											
方 法		-											
教 科 書	随時、資料を配布する。												
参考文献	『子どもの食事』(根岸宏	邦著、中央公論新	新社)										
	他、適宜紹介する。												

122 NK 4/1 LD	7 1 4 9 70 75 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11												
授業科目		恵											
講義のねら	小児期は発育・発達の著しい時期であるため、日々の保育や栄養のあり方が子どものの原にしまれる。												
いと概要	健康に大きな影響を与える。子どもの保健 で学んだ理論や知識をもとに、実際の保育家庭での育児や看護に必要な実践的技術を習得し、保育者の重要な資質である、子ども												
	の健康状態が判断できる力の育成をめざしたい。また、不慮の事故や子どもの緊急症状												
	る対処方法、応急手当、健康教育などの実践能力も養いたい。さらに、子どもだけでは	なく、											
	保育者自身の健康管理についても配慮できる力を身につける。												
古 米 廿 亩													
授業計画	第1週 オリエンテーション 子どもの保健 について												
	第2週 子どもの発育・発達の観察と評価												
	第3週 子どもの発育・発達の観察と評価												
	第4週 子どもの養護と教育 (だっこ・おんぶ)												
	第5週 子どもの養護と教育 (排泄)												
	第6週 子どもの養護と教育 (衣服の着脱・沐浴)												
	第7週 子どもの生活習慣 (睡眠・排泄)												
	第8週 子どもの生活習慣 (食習慣と食育)												
	第9週 子どもの生活習慣 (清潔と健康教育)												
	第 10 週 子どもの心の健康												
	第 11 週 体調不良の子どもへの対応・子どもと薬												
	第12週 個別の配慮が必要な子どもへの援助												
	第 13 週 感染症の予防と対策												
	第 14 週 園での安全対策と望ましい保育環境・保育における応急手当												
	第 15 週 まとめ・テスト												
指導方法	・講義、実習、グループワークを行う。												
	・筆記用具、提示された教材は持参すること。												
注意	・実習は動きやすい服装、エプロン着用で出席し、スリッパ、サンダルは禁止する。												
	・グループ内で協力し、全員が積極的に実習に取り組むこと。												
	・授業中の私語、飲食、携帯電話は禁止。												
成績評価の 方 法	筆記試験(60%) レポート(10%) 実技(20%) 授業態度(10%)												
,, ,,,													
教 科 書	『これだけはおさえたい!保育者のための子どもの保健 』(鈴木美枝子編著:創世社)												
参考文献	随時、資料を配布する。												

授業科目	家	庭	支	——— 援	論	単位数	2	担当教員	丸山	アヤ子					
講義のねら	本科目	では、暑	家庭支援	景におけ	る保育者の	 の役割を明確	にす	<u>l</u> る。個々の子と	l ビもを家庭	ごとに理解					
いと概要								る保育者として							
			-					が大きく変化し							
			-					要性が高くな! 庭・地域・他様							
								たいでは、であった。 こ、「子育て支持							
	法を方法	と技術を	を修得す	⁻ る。											
授業計画	第1週	家庭支援	における(保育者の役	割										
	第2週	家庭支援	家庭支援の意義と役割												
	第3週	地域社会	地域社会の変容と家庭支援												
	第4週	子育て支	子育て支援サービスの種類と役割												
	第5週	保育所入	育所入所児童の家庭への支援												
	第6週	家庭支援	の基本的	姿勢と援助	技術										
	第7週	子育て相	育て相談事例への対応(ロールプレイ)												
	第8週	ひとり親	家庭・発達	達障害児を	持つ子ども乳	家庭への理解と対	村応、抗	爱助							
	第9週	子ども虐	待への理解	解と対応、	援助										
	第 10 週	子育て支	援活動の第	実際を企画	īする										
	第 11 週	プログラ (グルーフ		て支援サー	・ビスの実際	:準備									
	第 12 週	プログラ	ム型子育っ	て支援サー	・ビスの実際((発表)									
	第 13 週	プログラ	ム型子育で	て支援サー	・ビスの実際((発表)									
	第 14 週	相談事例	研究および	び試験											
	第 15 週	これまで	のまとめ	: 保育者と	しての家庭。	支援									
指導方法							•	ーシャルワーク							
							ークを	を用いた具体的	支援方法を	E指導する。					
注意					要である。 って授業に	こ参加するこ	ہ ط								
							-	プ全員で協力し	,合うこと。						
成績評価の	筆記試驗	矣(30%	6) レi	ポート (30%)	課題(40	%)								
方 法															
教 科 書	『家庭さ	₹議論』(編著:清	溝口元・	寺田清美	、出版社:ア	7イケ	イコーポレー	ション)						
参考文献															

122 NK 4/1 LD	40	±.,,	1-17	n.t.	W (A W)		10 V/ +/- E		<u> </u>	2/2				
授業科目	相	談 	援	助	単位数	1	担当教員	小	至泰	治				
講義のねら							こたいして、そ							
いと概要							きるよう支援し							
		」でめること ノて体験的に			らをロールノ	レイ	やグループワ-	- クの技	法を用い	1、事				
	別を通し	/ CT午前央ロゾIC	- 子 加 (い)へ	• 0										
授業計画	第1週		t何かについて Pでなぜ相談援		ったのかをを理角	弾する。								
	第2週		≧論と歴史的な 『義と原理を理											
	第3週		相談援助の基本基本的枠組みについて理解する。 相談援助には、直接援助技術、関節援助技術等があることを学ぶ。											
	第4週	相談援助の価値や理念について理解する。 バイステックの援助関係における 7 つの原則を学ぶ。												
	第5週	相談援助の援助過程について理解する。 面接の開始から問題解決の終結までの過程を習得する。												
	第6週		到接の用知がら问题解決の終結まとの過程を自得する。 目談援助を行ううえでの倫理の必要性を学ぶ。 専門職としての倫理綱領を理解する。、											
	第7週		3ける直接援助)面接やグルー		ついて学ぶ。 法について事例を	Eとおし	ンて修得する。							
	第8週		けるコミュニテ ルた保育所のあ		り方について学る る。	ii.								
	第9週		まについて学ぶ ブループワーク	•										
	第 10 週	事例研究 グループワー	- ク											
	第 11 週	事例研究 グループワー	- ク											
	第 12 週	事例研究 グループワー	- ク											
	第 13 週		ジョンについて ジョンには3つ		ことを理解する。									
	第 14 週	相談援助にお	ける今後の課	題										
	第 15 週	まとめ												
指導方法	テキス	トを基本に	 し、前半に	は講義をもる	とに個別援助:	技術	 (ケースワーク	 ') 集団	援助技術	特(グ				
履修上の	ループワ	ノーク)やロ	ールプレイ	等援助実践	浅に必要な事!	頁を位	駄験しながら学	ぶ。後半	⊭は KJ 汎	まやブ				
注 意	レーンス	トーミング	で等の技法を	活用し、	事例をとおし [、]	て具体	本的な援助の在	リ方を	習得する	ので、				
	積極的な	参加と発言	ができる よ	う心掛ける	ること。									
成績評価の	筆記試験	₹(50%)	レポート	(20%)	課題(20	% <u>)</u>	発表(10%)						
方 法														
	『保育者	かための社	上会福祉援助	力技術』(桐	野由美子、樹	村房)							
参考文献	適ウプロ	ントを配布								ļ				
多与文献	週且ノリ	ノーで印机	. A O											

授業科目	保	育相	談	支	援	単位数	1	担当教員	小	室	泰	治	
講義のねら	保護者	に対する位	保育相談	支援(D意義に	ついて学び、	保護	者支援の方法や	り保護	者とσ)信頼	関係	
いと概要	の重要性	について3	理解する	。また	た、保育	相談の事例を	とお	して自己覚知、	他者理	里解の)重要	性を	
	習得する	•											
		保育相談と	は何かにつ	いて理能	解する。								
技 未 引 凹	第1週	保育相談の	意味や意義	につい.	て学ぶ。								
	第2週	保育相談支	援の原理に	ついて	子ぶ。								
	第3週	保育相談支援の展開と相談援助の関係について学ぶ。											
	笠 4 1 田	保護者の養育能力の向上に質すす支援について学ぶ。											
	第4週												
	第5週	丁月(豕灰)	刀主/占秣起	きに ンい	(子3)。								
	第6週	児童虐待へ	の支援につ	いて学ん	<i>Š</i> i.				•••••		••••••		
	第7週	援助者にな	るための自	己覚知	について学	2,3%							
	第 / 迥	援助者にな	z た み の 糾	·····································	トついて学								
	第8週	事例研究	S (C (V) (V) [L	8百年胜1	にフいて子	-/3\ ₀							
	第9週	保護者との	信頼関係を	築くたの	めの受容と	:自己決定の尊重に	こついて	て学ぶ。					
	第 10 週	保育相談の	評価と方法	につい	て学ぶ。		•••••						
	第 11 週	地域の関係	機関との連	携につい	ハて学ぶ								
	第 12 週	保育相談支 事例研究	援の特性に	ついて	学ぶ。								
	第 13 週	保育相談実 事例研究	践事例から	学ぶ。									
	第 14 週	児童福祉施 障害児をも			談支援						••••••		
	第 15 週	まとめ											
 指 導 方 法	事例研	究ではグ	ループ討	議を行	うい、そ	の結果を発表	する	 。従って積極的	りに発え	言がて	できる	よう	
履修上の	心掛ける			1	. , -		,		, 0 1				
注意													
成績評価の	筆記試験	(50%))レポ-	-	20%)	、課題(20	%)	発表(10%)				
方 法 													
教 科 書	『保育相	談支援』(柏女霊岬	夆/橋本	真紀編	ぎ ミネルヴ:	ア書房	子)					
参考文献	適宜プリ	ントを配る	ちする。										

授業科目	教		 原		単位数	2	担当教員	±//\		久	z			
講義のねらい と概要							のではなく、。 習得することを							
V. C 177 X							りの教育観を 見							
	来を展望	₫する教育の	あり方、さ	らに教育	改革の方向性	につ	ハても主体的I	こ考えて	ていく	きった	かけ			
	を提供す	ることをも	目的としま	きす。										
授業計画	第1週	オリエンテー	・ション:講義	の受け方と諸	注意									
	第2週	教育を受けら	れることは普	通のことか										
	第3週	週 教育とは何か:教育の語義												
	第4週	週 教育とは何か:教育の意義												
	第5週	人間の特質:	教育の可能性	と限界										
	第6週	教育の歴史:	学校の誕生と	その歩み										
	第7週	近代学校の成	泣と性格:誰	もが通える学	校とは									
	第8週	教育制度:学	校制度の発達											
	第9週	教育制度: 判	後における改	革の動向										
	第 10 週	幼稚園と保育	所の誕生											
	第 11 週	幼稚園と保育	所の歩み											
	第 12 週	教育の内容と	:方法											
	第 13 週	教育の評価:	意義と方法											
	第 14 週	教育の経営:	学級経営、学	校経営										
	第 15 週	試験およびこ	れまでのまと	め										
指導方法							識と思ってきた							
履修上の							て考えを深める							
注				-			について、図i ます。特に、X							
		₌co です こる必要があ			J CI& 0 V . C		S 7 8 191C 7	~ J •> μ	,,,,, <u> </u>		۵٫۵			
成績評価の	筆記試験	₹(50%)	レポート	(25%)	授業態度 (2 5 %	6)							
方 法														
教 科 書	保育者養	を成シリーズ	、『教育原理	- a										
参考文献	授業中に	必要に応じ	て紹介しま	:す。										

io ** i) o	/□	本		ТП	24 /2 . */-	0	扣业数量	△ ++	サイフ
授業科目	保	育	原	理 	単位数	2	担当教員	金村	美千子
講義のねら						-	子どもの健全な		
いと概要							な知識や技術を 竟構成をすると		
							たいこの講義で		
					-		ることによって		
	本的な知	口識や考え方	を身につけ	けることを	目標とする。				
授業計画	第1週	幼稚園と保育	所の制度						
	第2週	保育者の一日							
	第3週	保育とは何か							
	第4週	幼稚園教育							
	第5週	保育所保育							
	第6週	認定こども園							
	第7週	保育内容							
	第8週	教育課程・保	育課程						
	第9週	指導計画							
	第 10 週	保育形態(1)自由保育・	一斉保育・設	定保育				
	第 11 週	保育形態(2)年齢別保育	・縦割り保育	・混合保育・統合	3保育			
	第 12 週	外国における	保育の歴史						
	第 13 週	日本における	保育の歴史						
	第 14 週	保育の現状と	課題						
	第 15 週	試験・まとめ	1						
指導方法					スクをするこ	_•			
							変更をする場合 **** > ********		w++-+-
注	_				教師にとって。 授業に出ても		学熱心な学生に たい。	.とっても	述 恐じめる。
成績評価の	筆記試験	美(100%)						
方 法				合には、毎	授業時に提出	され	た「授業のまる	とめ」を評	7価して10
)範囲で加点							
教 科 書	『保育原	東理 保育者	になるため	の基本。	』(金村美千子	·編、	同文書院)		
参考文献									

	l											
授業科目	教	育	心	理	学	単位数	2	担当教員	大	谷	智	子
講義のねら	幼児教	枚育におい	て、人	、間の "	記憶や学	習のメカニズ	<u>"</u> لاً"	について理解を	を深め	ること	は重	要で
いと概要	ある。こ	ここでは、	こども	の発達	、記憶と	学習、動機づ	け等	いくつかの領地	或に焦り	点を絞	EI)、	保育
	の現場に	こおいて重	要な教)育心理	学の基礎	的知識を習得	する	ことを目的とす	する。	この講	義を	きっ
	かけに、	各人が教	育方法	や幼児	に対する	理解・考え方	を深め	めてもらいたい	١.			
授業計画	第1週	ガイダンス	ス、導入									
		担当講師の	の自己紹介	介と講義の	の進め方、な	ぜ教育心理学を学	学ぶ必要	要があるのかにつ!	て解説で	する。		
	第2週	こどもの外		およびピコ	アジェの認知	発達理論 ビゴッ	ソキーの	の発達の最近接領域	まについ	て学ぶ		
		こどもの心		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, , T 02 HB/H			770EV74XE1X	×1C 2 V 1	C 1 .5.0		
	第3週			か。愛着、	こころの理	論を通して考える	3.					
	第4週	気づくこと		L. 17	, = , +	*/	L	カか	، خد د م	-011-		
				か、とつい	ハつメカニス	、ムで人は汪恵を同	引けるの	のか。保育の視点 <i>f</i> . 	いら汪恵	こついて	考える	o.
	第5週	覚えること 記憶のしく		ハて概観す	する。身近な	:例や簡単な記憶3	実験をi	通じ、記憶の種類に	こついてき	学ぶ。		
	第6週	忘れること										
		なぜ忘却だ	が起こるの	のか、記憶	意と忘却のメ	カニズムについて	て学ぶ。	また,健忘症なる	ごの症状し	こついて	無れる	5.
	第7週	学ぶこと記憶の側面	気から ん	ビうすわ.I:	ず記憶し続け	られるか考える。						
		教えること				31003 37008						
	第8週	心理学にお	おける学習	習について	て学ぶととも	に、行動の側面が	いら、き	学習の方法について	て考える。			
	第9週					て高まるのか る気を育むこと <i>が</i>	バブきえ	るのか老さる				
		問題解決を				SXIE HOCC.	J. C & 8	50/1/デラル る。				
	第 10 週				夬方法につい	て学ぶ。						
	第 11 週	こどもを取り出版を			社会性や道徳	性について学ぶ。						
		学級集団										
	第 12 週		こおける彳	う動や発生	生しやすい問	題について学び、	より。	よい学級作りについ	て考える	3.		
	第 13 週	個人差とは知能やパー		ティについ	ハて学ぶ。							
	答 4 4 注目	教育評価					······					
	第 14 週	学力の測定	こと評価!	こついて	学び、評価の	多様性についても	き考える	3.				
	第 15 週	試験および	びこれまつ	でのまとめ	め							
指導方法	授業毎に	考えたこ	とを小	レポー	ト(課題) として書い	ても		,)			
履修上の												
注意												
成績評価の	筆記試驗	美(60%))課題	題(3(0%)授	 業態度(10	%)					
方 法		-			,		•					
教 科 書	特になし											
		-										
/\ · · ·												
参考文献	その都度 	ほ紹介する かんりょう かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	00									

122 MK 471 C	+/_			T.T.		W /A W		10 V/ +/- E	-	.1.+	**	_			
授業科目	教	育	心	理	学	単位数	2	担当教員		崎					
講義のねら								る教育心理学の を中心とした授			·獲得	し、			
いと概要								を中心とした技 て出会う様々な			にとら	らえ、			
						うになること			., ,,,,,						
授業計画	第1週	教育心理	学とは::	なぜ教育心)理学を学ぶ	ぶ要があるのか									
	第2週	教育心理	学におけ	る研究法:	: 子どもたち	を知るためにどの	いような	な方法が用いられる	のか						
	第3週	乳幼児の	発達 :	認知はどの	りように発達	するのか									
	第4週	乳幼児の	発達 :	言語はどの	りように発達	するのか									
	第5週	乳幼児の	発達 :	社会性はと	ごのように発	達するのか									
	第6週	乳幼児の	発達 : '	性格はどの	Dように形成	えされるのか									
	第7週	様々な学習:学習にはどのような種類があるのか、子どもたちはどのように学習をしているのか													
	第8週	一一「株々な子自・子自にはこのような怪無があるのが、」ことにとはこのように子自をしているのが													
	第9週	動機づけ	: 学習へ	のやる気を	₹高めるため	にはどうすればよ	こいか								
	第 10 週	個人差と	指導:ど	のような個	固人差を考慮	すべきか、どのよ	こうな教	牧え方があるのか 							
	第 11 週	発達障害	: どのよ	うな発達障	章害があるの	か、発達障害の子	² どもを	を伸ばすには?							
	第 12 週	こころの	問題:こ	ころの問題	題はどのよう	に表れるのか									
	第 13 週	教育活動	の測定と	評価:教育	育における評	価とは?どのよう	に測え	されるのか							
	第 14 週	保育と教	育心理学	とのつなか	がり:保育者	にはどのような役	と割がる	求められるのか							
	第 15 週	試験およ	びこれま	でのまとぬ	b										
指導方法								がら積極的に							
履修上の 注 意								めにすべて保管 スドキ時代をt							
注		結び付け				のる。日ガ日	分の	子ども時代を排	限り返!	ソムハ	いら、	神我			
 成績評価の	筝記試験	ት (5 በ 0	6) L.	ポート/	(2 N 0% \	課題(20	0%)	授業態度(1	በ % ነ						
方法	→ □□□八河)	(· X · V	, I (((prives (2 U	/0 人	IX来∞I又(Ⅰ	· /u /						
参考文献	『保育の	ための教	教育心理	里学』(均	家原明、フ	ブレーン出版)) 『精	選コンパクト	教育心	理学	』(北	尾倫			
	彦他、北	大路書 原	号)												

授業科目	保	育	者	論	単位数	2	担当教員	松力	木 久	、子
講義のねら	今日、	社会の急遽	まな変化や-	子どもそし [*]	 てその保護者	の質の	の変化に対し ⁻	て、たく	ましく	対応し
いと概要							す。幼い子ども			
							は、保育者とし 者が担っている			
	-						す。また、これ			
	ていく子	² どもの育成	にとって、	望ましい個	保育者の資質	・能力]は何かを模索	していき	きます。	
授業計画	第1週	オリエンテー	・ション:講義	の受け方と諸	注意					
	第2週	現代の子ども	と学校、教師							
	第3週	保育者という	仕事の実態							
	第4週	日本の教職の)特質							
	第5週	指導と懲戒:	進級をめぐる	日本特有の問	題					
	第6週	指導と懲戒:	体罰をめぐる	事情						
	第7週	幼稚園教諭と	:保育士の類似	点と相違点						
	第8週	幼稚園教諭の)仕事の実態(1))						
	第9週	幼稚園教諭の)仕事の実態(2))						
	第 10 週	幼稚園教諭の)仕事の実態(3))						
	第 11 週	教師像の変遷	<u> </u>							
	第 12 週	保育者として	の服務と望ま	しい資質						
	第 13 週	子どものしつ	けをめぐる問	題(1)						
	第 14 週	子どものしつ	けをめぐる問	題(2)						
	第 15 週	試験およびこ	れまでのまと	め						
指導方法							幼稚園教諭・信			
履修上の注 意						. •	その際には、E でほしいと思い			
							りに学ぶ態度で りに学ぶ態度で	-		
							が大いにあり			·
成績評価の	筆記試験	₹(50%)	レポート	(25%)	授業態度 (25%	b)			
方 法										
教 科 書	保育者養	を成シリーズ	、『教育原理	E a						
参考文献	授業中に	必要に応じ	て紹介しま	きす。						

1- 34 -1 -	*1				1-44	N 1 10	_	I= 11.44 =				
授業科目	社	会	的	· 養	護	単位数	2	担当教員		堀		郎
講義のねら								であるが、実l たいでもい。				
いと概要			-					施設であり、』 事の範疇にある				
	-							当てて子ども				-
				-				実習の事前準備				
						υできたこと :している。	を理	論的に整理し、	再認諳	する	こと	こよ
授業計画	第1週	子どもの		-	514011C	. U Clia.						
							·····					
	第2週	子どもの村	を 付として	の社会的	養護 							
	第3週	日本におり	ナる社会的	養護のし	くみ							
	第4週	社会的養証	隻に携わる	専門職								
	第5週	家庭支援の	の理論と実	践								
	第6週	家庭的養語	隻の理念と	里親制度								
	第7週	乳幼児の生	生命と健や	かな育ち	の保障							
	第8週	児童養護族	施設の歴史	と自立支	援							
	第9週	非行のある	る子どもの	自立支援								
	第 10 週	情緒障がに	ハのある子	どもの社	会的養護							
	第 11 週	知的・身体	本的障がい	のある子	どもの社会的	的養護 						
	第 12 週	児童養護族	施設におけ	る子ども	の権利擁護							
	第 13 週	当事者から	ら見た日本	の社会的	養護							
	第 14 週	日本の社会	会的養護の	今後の課	題							
	第 15 週	試験・まる	- - -									
指導方法	講義を中	心に進め	る。									
履修上の 注 意												
注 思 												
成績評価の	筆記試験	€(60%) 毎回	の授業	時に行う	レポート (4	0 %)				
方 法 												
教 科 書	『子ども	の社会的]養護 と	出会いと	∠希望のか	いけはし』(望	2月彰	編著、建帛社)			
参考文献	授業中に	適宜紹介	する。									

授業科目	発		心	理	学	単位数	2	担当教員	Ш	田三		ŧ
講義のねら	到達目	標は、	 各発達	段階ご	との発達を	<u> </u> E理解する、	各多	 発達領域ごとの	 発達に1	ついてヨ	理解す	,
いと概要	る、の2	つになる	3.									
								色々変わった所 しているのか ^も	-			
								しているのがで 面、ゲーム等で				-
	えた。こ	ういった	と状況σ)変化が	、子どもの	の内面形成に	どの	ような影響を与	言えるの	かとい	った	こ
授業計画	とを考え	こてみる。										
1文 未 前 凹	第1週	発達とは	(遺伝	と環境、成	(熟と学習、変	別印づけ、ハーロ	コウの乳	€験、生理的早産、 	など)			
	第2週	発達段階	(乳児、	幼児、児	見童の各段階、	主な発達課題、	0 歳リ	見の発達、など)				
	第3週	年齢別の	発達 (1 歳児の発	(達)							
	第4週	年齢別の	発達 (2 歳児の発	達)							
	第5週	年齢別の	発達 (3 歳児の発	達)							
	第6週	年齢別の	発達 (4 歳児の発	達)							
	第7週	年齢別の	発達 (5 ・ 6 歳児	己の発達)							
	第8週	思考の発	達 (己中心性、アニュ						
	第9週	思考の発	達 (ピアジェ:	感覚運動、育	前概念、直観の名	5思考、	均衡化理論、など	<u>-</u>)			
	第 10 週	言葉の発	達(言	葉の機能、	内言と外言、	喃語・初語・片	ἡ言、-	−語文、など)				
	第 11 週	描画の発	達(各	発達段階、	描写上の特征	数と問題点、色の	D問題、	など)				
	第 12 週	自己概念	の発達	(自我・ハ	(ーソナリテ/	ィ等に関連するエ	里論、ス	フロイト、エリクソ	ノン、など)		
	第 13 週	知覚の発	達(知	覚と認知、	体制化、感情	青や欲求の影響、	など))				
	第 14 週	情動の発	達(情	動の分類、	プリッジェス	スの年齢別発達、	かんし	しゃく、嫉妬、なと	<u>-</u>)			
	第 15 週	発達障害	、試験	(自閉、多	多動、知的障害	害、知能検査なる	ど。筆詞	己試験)				
指導方法	` ′					O等) 板書で		-				
履修上の注 意	(,					資料として終		⁻ る。 áは注意の上退	ш х н 2			
注	(3) 技未	中仍私品	5、15节	电前、尽	⋏ 反I Ժ宗⊥	。 x1 & U \ /	⋏ ≀1≅	1は注息の工座	шс с е	0.		
成績評価の	筆記試験	ŧ(10(0%)									
方 法	授業4回	毎に小詞	式験を行	う(配	点は 24 点	~26点)。台	計 4	回で 100 点満	点。			
教 科 書	ない。											
参考文献	講義の時	持に紹介す	する。									

授業科目	保育の心理学単位数 1 担当教員 川田三夫
講義のねら	保育の実践にかかわる発達心理学の基本的な理論や概念は一応学修している。ここではさら
いと概要	に演習的な学修を通して理解を深めることを目標にする。
	まずライフサイクル的に各発達段階(発達過程)の特徴、子どもの心理を理解する。発達に
	また、個々の発達領域、身体・運動、情緒、知覚・認知、言葉、知的能力、遊び、社会性、
	人格、道徳性、発達障害、測定・評価の方法等のテーマで演習的に理解を深める。
122 NK 71 =	
授業計画	第1週 発達理論、発達観、児童観、保育観などのテーマ (説明、発表、質疑、など)
	第2週 発達段階(発達過程)、各段階の特徴、子どもの心理などのテーマ (説明、発表、質疑、など)
	第3週 身体・運動の発達などのテーマ (説明、発表、質疑、など)
	第4週 情緒の発達などのテーマ (説明、発表、質疑、など)
	第5週 知覚・認知の発達などのテーマ (説明、発表、質疑、など)
	第6週 言葉の発達などのテーマ (説明、発表、質疑、など)
	第 ⁷ 週 知的能力の発達などのテーマ (説明、発表、質疑、など)
	第8週 遊びの発達などのテーマ (説明、発表、質疑、など)
	第9週 友だち関係、社会性の発達などのテーマ (説明、発表、質疑、など)
	第 10 週 人格の発達などのテーマ (説明、発表、質疑、など)
	第 11 週 道徳性の発達、今日的な問題や課題などのテーマ (説明、発表、質疑、など)
	第12週 発達障害、保育現場での関わり方などのテーマ (説明、発表、質疑、など)
	第 13 週 測定・評価[(理論、各種テストなど)などのテーマ (説明、発表、質疑、など)
	第 14 週 子ども理解と保育実践[PDCA]などのテーマ (説明、発表、質疑、など)
	第 15 週 特定のテーマについての振り返り (説明、発表、質疑、など)
指導方法	(1)グループ発表、質疑、まとめのレポートという形で行う。
	(2)レジメの作成、説明の仕方 質疑など、考える、発表する力の醸成を基本にする。
注意	(3)発表側、聞く側、双方に積極的な参加意識を要求する。
成績評価の	毎回、グループ毎に4段階評価をつける。(100%)
方 法	さらに、上記の観点からプラス、マイナス等の個別評価を加える。
教 科 書	ない。
参考文献	

授業科目	教	育	社 会	学	単位数	2	担当教員	小	堀	哲	郎
講義のねら	現代社	t会には :	教育 をめ	ぐる問題や	トピックには	事欠	かない。また、	今日0	D日本	では、	、ほ
いと概要	とんどの)人が高校	に進学し、	さらに大学か	や短大などの	高等教	対育を受ける人	、が 7 割	訓に至	る。	この
	ように、	現代社会	に生きる私	たちは、 教	育 と無縁て	ごいる	ことはできない	ハと言え	える。		
	教育社	t会学は、:	現代社会と	密接な関係	にある 教育	الح	ハうものに、ネ	社会学と	こいう	学問!	的立
	場からず	プローチ	をするもの	である。特	に、この講義	では、	保育者を目打	旨す学生	Eに対	して、	、毎
			· -		る話題を取り	上げ	るので、現代の	の子ども	らが置	かれ	てい
	る状況に	□理解を深(めてほしい	と思う。							
授業計画	第1週	子どもと	保育 の社会	学とは何か							
	第2週	子ども観の	歴史と現代の神	社会事情							
	第3週	人口減少時	代のなかの子	育て							
	第4週	子どもは地	域社会で何を	学ぶか							
	第5週	家族と子育	τ								
	第6週	子ども・家	族を見通した	子育て支援							
	第7週		践とジェンダ-	-形成							
	第8週	保育所・幼	稚園へのクレー	- Δ							
	第9週	学級経営									
	第 10 週	なぜ保育者	には短大卒が多	多いのか							
	第 11 週	保育者のラ	イフコース								
	第 12 週	保育者は専	門職か								
	第 13 週	早期教育と	現代の子育で	事情							
	第 14 週	子どもとメ	ディア								
	第 15 週	試験・まと	め								
指導方法	講義を中	心に進め	る。								
履修上の											
注 意											
_1, /++- '			:	4 NIV = -1 · · ·							
成績評価の	筆記試験 	₹(60%) 毎回の授	業時に行う	レポート (4	0 %)				
│方 法 │											
教 科 書	『計本介	たかの子	ジェレクタ:	老.(小坛装	郎編著、創成	† ż + \					
教 科 書 	11五0.	/ みり.07 <u>1</u>	こりに休月	田当へい、発田	ないが付い 別の	tT⊥)					
A											
参考文献	授業中に 	·適宜紹介·	する。								

<u> </u>	l .							l				
授業科目	臨	床	心	理	学	単位数	2	担当教員	伊	藤	明	芳
講義のねら	臨床心)理学は応	用心理	学の一	つである。	臨床心理学	は心	の悩みを解決し	ノ、人間	間を幸	せに	する
いと概要	学問とも	いわれて	いる。									
	現代社	会にはさ	まざま	な心の	問題が存む	生する。私た	ちが	、人の心を理解	解しよう	うとし	たり	、心
	の問題に	向き合お	うとし	たりす	るとき、旣	席床心理学は	それら	らの試みをサポ	ートし	てく	れる。	
	本講義	では、臨	床心理	学の基	礎的知識(の習得と現場	で活	きる臨床心理等	学の実践	线的能	力の	育成
	を図る。	さらに、	保育者	自身の	心の安定と	:成長にもア	プロ-	-チしたいと考	えてい	る。		
12 11/41 —		1 / 2 / 2 / 2	n li h :	> .								
授業計画	第1週	1 . イント 臨床心	・ロタクシ ›理学とは									
	第2週								•••••			
			プレイに		·							
	第3週	2 . 臨床心 精神分		がび捉えた	うと心理療法							
	等 4 油		_ **									
	第4週	行動主	- 莪									
	第5週	人間性	心理学									
	第6週	3 . 心の発	達									
	第7週	4.心と脳	ś									
	第8週	5 . 心理ア	'セスメン	/								
	第9週	6.心の問	題の理解	早と対応								
	第 10 週	7 .子ども	の心の問	題								
	第 11 週	8 . 発達障	害									
	第 12 週	9.心の病	気									
	第 13 週	10.家庭支	え援と他者	・他機関	関との連携							
	第 14 週		首自身のメ い理学の理		ヽルスを考える 月	3						
	第 15 週	まとめと	前期試験	ŧ			•••••					
指導方法	講義を	中心にお	こなう	。実際	の事例なる	と をあげ、受	講生	にわかりやすい	小内容を	<u></u> を心か	げた	l I。
履修上の	その他、	ビデオ視	聴で理	解を深	め、ローノ	レプレイ等も	取り	入れて、臨床心	〕理学0	り体験	的な	学習
注 意	もおこな	いたい。										
	受講者	には自ら	学び考	える意	欲をもって	「授業に参加	する鳥	態度が求められ	る。			
 成績評価の	筆記試験	€(60%) 課題	頁(4()%)							
方法	— HC HPVISA	. (2 2 /0	∠ H/I\A⊆	_ 、 . 、	· · · · /							
教 科 書	特に指定	こしない										
参考文献	『保育と	:教育に生	かす臨	床心理		 兼利・平山詣	俞(編)、	 、ミネルヴァ書	 諸房)			
					-			・ 適宜紹介する)				
	(

1 111 -1 -	I						1-11-1			
授業科目	臨	床心	, 理	学	単位数	2	担当教員	北	直	美
講義のねら							等を取り上げ、			
いと概要					-		みならず、可能 を通して、問題			
		a、ロールノ いて実践的			味趣への取り	組み	を通して、同語	見て把人	た人とり	ノ 关 イン
				_	することが考	えら	れる。その際に	こ、臨床	心理学的	りな視
							、ねらいをも:			
	ようにな	こることが、	本講義の目	的である。						
授業計画	第1週	オリエンテー	ション・臨床	心理学の考え	方 ········					
	第2週	災害と臨床心	里学							
	第3週	発達と臨床心	里学1(乳児期])						
	第4週	発達と臨床心	里学 2 (幼児期	・児童期)						
	第5週	発達と臨床心	里学 3 (思春期	・青年期・ま	きとめ)					
	第6週	発達障害								
	第7週	こころを捉え	る 1 (心理アセ							
	第8週	こころを捉え	る 2 (心理アセ	2スメント2)						
	第9週	こころを捉え	33(こころの)問題)						
	第 10 週	心理療法の実	祭1(来談者中	心療法・精神	申分析)					
	第 11 週	心理臨床の実	祭2(行動療法	・認知行動療	表法)					
	第 12 週	心理臨床の実	祭3(リラクセ	ジーションの技	技法・まとめ)					
	第 13 週	心理面接法								
	第 14 週	事例検討								
	第 15 週	試験・講義の	まとめ							
指導方法	講義で	ごは A4 の配る	万資料を多	用する。各	各自ファイル	等に整	隆理し、紛失し	ないよう	っにする	こと。
履修上の										
注意										
 成績評価の	筆記試點	食(70%)	授業能度	・課題 <i>(</i> 3	0 %)					
方法	# 10 12 V	(IX#WIX	W. 62. (3	0 70)					
払 1 N コ										
教 科 書										
4 ± + + h	*#** * -	≂₽±π+/π ^ - -	7							
参考文献	講義内で	で随時紹介す	ప 。							

授業科目	情報機	器利用	単位数	1 担当教員	星野 治・金 宰郁										
講義のねら	本科目では、幼児教	教育における「教育 <i>の</i>	方法及び技術	」について、基礎的	的な理論と教育の方法										
いと概要	を支援する情報機器	(コンピュータ)そし	して教材の活用	について理解を図]ります。										
	具体的には、以下の	のとおりです。													
	教育の方法、指導	募方法及び教育課程 <i>の</i>	D原則について	、その基本を理解	すること。										
	情報機器及び教	材の活用について、身	具体的な機器の	学習を通じて理解	すること。										
授業計画	第1週 本授業の目的、	方法そして受講上の心構	え、教育の方法、技	指導の要件の基本理念											
	第2週 指導の方法、	教育課程の基本、情報科学	と情報手段の特徴理	里解と操作能力											
	第3週 情報機器(パン	ノコン)の操作と教材への	活用:パソコンの楠	構成、Windows の基本操	作、その他 										
	第4週 ワープロソフ	ト「Word」の基礎(1):基本	操作(文字入力等	、文書の保存・読込み	头、その他										
	第5週 表計算ソフト	「Excel」の基礎(1):基本	操作(文字入力等))文書の保存・読込み	、その他										
		ト「Word」の基礎(2):文書 ・文字揃え、その他	形式、文書の印刷	・コピー・移動・削除、	文字サイズの変更、特殊記										
	第 7 個	「Excel」の基礎(2):簡単な 編集シートの調整 (セルの			相違、データの編集 (挿入・)他										
	第8週 ワープロソフ	ト「Word」の基礎(3):表作	成、均等割付・段	組、縦書き文字、印刷	イメージ、その他										
	第9週 表計算ソフト 成、その他	表計算ソフト「Excel」の基礎(3):数値処理(組み込み関数による計算、データの並べ替えなど) グラフの作													
	第 10 週 「Word」および	ゾ「Excel」の応用(1):幼	児教育関連の課題	(掲示用ポスターなど)) の作成										
	第 11 週 「Word」および	ゾ「Excel」の応用(2):幼	児教育関連の課題((園便りなど)の作成											
	第 12 週 「Word」および	び「Excel」の応用(3):必	ずしも幼児教育にる	こだわらない種々の課是	夏の作成										
	第 13 週 指導方法、教育	育課程に関わる総合課題(1)):幼児教育現場に	おける情報機器の利活	用、その他										
	第 14 週 指導方法、教育	育課程に関わる総合課題(2)):幼児教育現場に	おける情報データの利	活用、その他										
	第 15 週 上記の総合課題	頃(1)・(2)についての検討	とまとめ[、期末記	試験]											
指 導 方 法	本授業では、教育の	の方法、指導方法及び	「教科課程の基準	本原則を講義する	とともに、情報機器を										
履修上の	用いた具体的な指導	を行います。したがっ	って、												
注 意	1)教育方法とその技	術との関連を実際的	にとらえられる	るよう、積極的に	受業に参加すること。										
	2)情報機器を用いて	、その活用を身に付	けるには、かな	なりの努力を必要。	とします。予習・復習										
	を怠らず頑張ってくた	ださい。													
	3) 課題が出題された	:場合、担当教員の指	示する提出方法	まおよび提出期限?	を厳守すること。										
成績評価の	課題(70%) 授	業態度(30%)を	基本とします。												
方 法	ただし、期末試験で	生実施する場合は、筆	記試験(309	%)課題(40%) 授業態度(30%)										
	を基本とします。期ま	末試験の実施について	ては、担当教員	の指示にしたがっ	てください。										
教 科 書	『30 時間でマスター	Word & Excel 2007 a	(実教出版編修	§部、実教出版)											
	その他、必要に応			,											
参考文献		 紹介します。													
		··· v													

授業科目	情	報	機	器	利	用	Ë	 单位数	1	担当教員	a	桓	木	功	子
講義のねら										-ションソ					
開我のねる		_				•				・フョファ も、園だよ					
	さまざま	きな印刷	削物を作	乍成 し	たり、	教育.	上必要	な情報収	集な	どのスキル	が求め	りられ	ເວ。	本講	では
					ざまれ	な文書	や表計	算のスキ	ルを	習得すると	ともに	_	り高	度な	文書
	作成スキ	・ルを見	まにつじ	する。											
授業計画	第1週	簡単な	表作成。												
	第2週	連絡名	簿を作る	S.											
	第3週	便利な	機能才一	トフィ	ルを学	١٤٢°,									
	第4週	円グラ	フや棒ク	ブラフの	作成										
	第5週	カレン	ダーを作	≣る (ク	リップ	アート、	オートシ	/ェイプの	活用)						
	第6週	デジカ	メや携帯	で写真	を撮り	、パソコ	ンに取り)込み、保	存する。 						
	第7週	パソコ	ンで簡単	色に写真	を修正	・加工す	る。その	写真をエ	クセルに	エ取り込む。					
	第8週	シート	のコピー	を学ぶ	•										
	第9週	シート	をまたい	バだコピ	ーなど	について	学ぶ。								
	第 10 週	表計算	のしかた	- .											
	第 11 週	引き算	、掛け算	割り	算など	•									
	第 12 週	簡単な	関数の値	しい方。											
	第 13 週	住所録	の作成												
	第 14 週	住所録	の作成												
	第 15 週	便利な	アプリク	「ーショ	ンソフ	トについ	て。								
指導方法	実践的	りな授業	美なの で	で、未	経験者	当も経り	検者も、	スキル	アップ	プを目指して	て積極	的に	取り	組むる	٤٤.
履修上の注 意															
	+m == -		1 11-	4v		24.3									
│ 成績評価の │ 方 法	課題(7	70%)	、授業	態度(3 0	%)									
7) /4															
教 科 書	授業に合	うわせた	-プリン	ノトを	配布	予定。									
参考文献	必要に応	51.7 RX	白口生火刀イ	<u> </u>											
多与人脚	少女に心	, し て 別	ロドサポロノ	170	0										
グラス間	が女に爪	, し て 似	6847까다)	ו איני פו	0										

授業科目	/7±±	—	18 /0		54 \F	- * <i>h</i>		/+ 赤	エルフ
	障	害	児 保		単位		2 担当教員	佐藤	千代子
講義のねらい と概要							は一般的となり		
いて恢安							て障害に対する 重要なことである		
							肢体不自由)言	-]え、昨今、
				-			でいる発達障害		
	動性障害	『、学習 障	害)を取り	上げ、その特	特性を現	理解し、	支援の在り方や	技法を学ぶ	、。また、小
	学校や関	係機関と	の連携や家族	族への支援の	の在りた	うについ	ても学ぶ。		
授業計画	第1週	ガイダンス	(障害のある	る子どもの理解		第 16 週	視覚障害児の理解	と保育	
	第2週	障害児保育	の形態			第 17 週	聴覚障害児の理解	と保育	
	第3週	障害児保育	の歩み			第 18 週	肢体不自由児の理解	解と保育	
	第4週	乳幼児健診	と早期発見			第 19 週	言語障害児の理解	と保育	
	第5週	知的障害児	の理解			第 20 週	気になる子どものか	呆育 対応が難	進しい子ども
	第6週	知的障害児	への対応			第 21 週	気になる子どものか	保育 情緒障害	害・未熟児など
	第7週	自閉症の理]解			第 22 週	障害のある子どもの	の保育方法 (保育者の姿勢
	第8週	自閉症児の)支援のポイント			第 23 週	障害のある子どもの	の保育方法 - 基	基本的生活習慣
	第9週	自閉症児の	保育現場におけ	ける支援		第 24 週	障害のある子どもの	の保育と指導記	十画
	第 10 週	注意欠陥多	動性障害(AD	HD)の理解		第 25 週	個別の指導計画		
	第 11 週	注意欠陥多	動性障害児のす	5援のポイント		第 26 週	障害のある子どもの	の保育実践と記	平価
	第 12 週	注意欠陥多	動性障害児の傷	R育現場での支持	援	第 27 週	幼稚園・保育所と	小学校の連携	
	第 13 週	学習障害 (LD)の理解			第 28 週	保護者への支援 - [章害受容	
	第 14 週	学習障害児	の保育現場にお	おける支援		第 29 週	保護者への支援	子育て支援	
	第 15 週	試験・前期]のまとめ			第 30 週	試験・後期のまと	b	
指導方法	教科書	まを中心に	、プリント	や資料などを	を使用し	してわか	り易い講義をす	る。わから	ない点につ
履修上の									
注意				レポートの摂					
						記(者)	に関わる機会を	もってほし	ν I _°
 成績評価の				の使用は厳勢 · (20%)		と度(3	0 %)		
方法	· →□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	(5 0 70	Y 5W 1	(20/0)	以本心	wix (J	<i>- 10 j</i>		
教 科 書	『新・障	害のある	子どもの保証	育 第2版	』(伊	藤健次	編 ((株) みらし	,1)	
参考文献	必要に応	じて紹介	する						

授業科目	障	害	児	保 育	単	位数	2	担当教員	藤	村	元	邦
講義のねらいと概要								となく、適切な				
				して考える		-	:X /	たい。障害児係	マタの耳	3 担 ブ	≟曲∶里-	. z
								さい。 障害元のョンの発達。 遺				
								ットトレーニン				
授業計画	第1週	- 光理を又 本授業の概		<u> </u>	が 19 、 P早	第16週		いない共通性に ttまひについて	J61 C	ちんの	D 1 1/2	ι ι _ο
	第2週		 -トで遊ぼう	 วั		第 17 週		害児保育とムーブ	メント法	(1)	•••••	
	第3週			ズム(実技含む)		第 18 週		害児保育とムーブ				
	第4週			ズム(実技含む)		第19週		害児保育とムーブ				
	第5週	障害児の食	食事行動形成	艾への支援		第 20 週	コ	ミュニケーション	について	(1)		
	第6週	学習につい	1て(1)			第 21 週	٦	ミュニケーション	について	(2)		
	第7週	学習につい	1て(2)			第 22 週	コ	ミュニケーション	について	(3)		
	第8週	障害につい	1て考える ((1)		第 23 週	知	能検査と障害				
	第9週	障害につい	1て考える ((2)		第 24 週	発	達検査と障害				
	第 10 週	周りの人と	と自分との同	同じところを探る	そう	第 25 週	τ	んかんについて				
	第 11 週	なぜ自分と	:同じといえ	えるのか考えよう	5	第 26 週	医	療的ニードの高い	児への理	解(1)	
	第 12 週	運動発達 ((1)			第 27 週	医	療的ニードの高い	児への理	解(2)	
	第 13 週	運動発達 ((2)			第 28 週	医	療的ニードの高い	児への理	解(3)	
	第 14 週	運動発達 ((3)			第 29 週	障	害と共通性につい	τ			
	第 15 週	運動遊具の				第 30 週		験・まとめ				
指導方法履修上の意	ビデオ める。	†† OHP	の映像を	活用するこ	とにより	、理解が	でき	るだけ容易にな	よるよう	うに授	業を ⁻	ਭ ਭ
成績評価の 方 法	筆記試験	€ (70%))授業!	態度(30%	6)							
教 科 書							_					
参考文献	『医療ス 教育に	タッフの: いかすム	ためのム ーブメン	ーブメント1	2ラピ - 田博司監	発達障 修 小林	害・ 芳文	E高編著、日本 重症心身障害! ・藤村元邦編 [:] 書房)	児(者)の	医療	・福祉	L [・]

	1								1	
授業科目	社	会 的	養 護	内	容	単位数	1	担当教員	志濃原	亜美
講義のねら								会的養護におり		
いと概要		F社会福祉 S系的に理		者の倫は	埋につい	て、また、	ソー	シャルワークの	の技術など専	門的技術
				援計画の	の作成、	記録の書き	方、自	自己評価につい	1ても具体的に	こ学ぶ。
		, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			11 7-20		,,,,		02011231	- 3 - 5 - 6
授業計画										
12 未 11 四	第1週	オリエンテ	ーション							
	第2週	施設実習を	E振り返って							
	第3週	社会的養護	護の歴史的変	遷と概念						
	第4週	児童の権利	擁護と社会	的養護						
	第5週	社会的養護	護の制度やし	くみ						
	第6週	社会的養護	護のの実際 (1) (グループワ	ーク				
	第7週	社会的養護	護のの実際 (2) ?	グループワ	ーク				
	第8週	社会的養護	護のの実際 (3) ?	グループワ	ーク				
	第9週		護のの実際 (グループワ	ーク				
	第 10 週		護のの実際 (5) (グループワ	ク				
	第 11 週	社会的養護	護の現状							
	第 12 週	社会的養護	護の課題と地	域福祉						
	第 13 週	グループ系	発表の調整 きんしゅう							
	第 14 週	グループ系	養 1							
	第 15 週	グループ系	養 2							
指導方法	演習を中	心とする	。普段か	ら児童問	問題に関	心を持ち、	主体的	りに授業に参加]すること。	
履修上の										
注意										
成績評価の	レポート	(20%) 発表(50%))授業	態度(30	%)			
方 法										
教 科 書	『伊卒士	- 養成 锂 程	社会的	養護内で	交』(北4	= 館 \				
秋 17 首	体育工	- 戻ル以の不√王	: JT女山),	民 1支171年	ᆿᆁᄾᄼᆚᆿ	_¤¤ <i>)</i>				
参考文献	『最新係	 発育資料集	2012』(ミネルウ	ブァ書房)				
	参考文献	ぱは適宜紹	介する							

	1					1 1			
授業科目	社	会 的 積	養 護	内容	単位数	1	担当教員	佐藤	千代子
講義のねら	子ども	は家庭で育	てられる	のが一般的	勺であるが、家	尼環 境	気などの理由や	り、心身に	何らかの障
いと概要	害があり	専門的なケ	アを必要	とする場合	ふ家庭での生	活が困	難なことがあ	る。この。	ような場合、
	家庭に代	こって子ども	を養育す	るしくみか	ド児童福祉施設	などで	行われる社会	的養護で	ある。
					^{いで健全な生活}				
					身に傷を抱えた				
					1る。さまざま				
	に向けた	処遇の内容	について	理解を深め)、実際的な支	接のあ	リ万を字ぶこ	とを目標。	とする。
授業計画	第1週	ガイダンス	社会的養	護の場として	の児童養護の体系。	と児童福	祉施設の概要		
	第2週	社会的養護の	決定の仕組	みー児童相談	所の役割				
	第3週	児童養護施設	における育	ちと自立支援					
	第4週	児童養護施設	における心	理的ケア					
	第 5 週	乳児院におけ	る育ちと自	立支援					
	第6週	母子生活支援	施設におけ	る育ちと自立	支援				
	第7週	児童自立支援	施設におけ	る育ちと自立	支援				
	第8週	情緒障害児短	期治療施設	における育ち	と自立支援				
	第9週	知的障害児施	設における	育ちと自立支	援				
	第 10 週	重症心身障害	児施設にお	ける育ちと自	立支援				
	第 11 週	里親制度の特	徴および実	際					
	第 12 週	虐待を受けた	子どもへの	支援					
	第 13 週	家族への支援	と家族再統	合への取り組	み				
	第 14 週	児童福祉施設	における子	どもの権利擁	镬				
	第 15 週	児童福祉施設	における援	助者の資質と	倫理 				
指導方法	配布し	ルたプリント	、資料・	D V D等	を使ってわかり	易い語	 構義を行う。戍	容により	、グループ
履修上の					ごしどし質問す	ること	0		
注意		/トは、ファ				_			
)提出をもとめ	る。			
产建轭压		の私語、飲				0()			
成績評価の 方 法	レボート	(50%)	光 表(.	20%)持	受業態度(30	%)			
払 1/1 +	#± 1- ±1-,	21 4513							
教 科 書 	特に指定	こしばい。							
	必要には	 いて紹介す	ろ						
	Z Z C/L	, O CMIN 9	v						

拉米以口		r 7
授業科目	│ 保 育 課 程 総 論 │単位数 │ 2 │ 担当教員 │ 金村 美 st │	
講義のねら	幼稚園や保育所では、子ども達の心身ともに健全な発達を促すために、入園時から卒園	
いと概要	│ までの生活の大綱を記述した教育課程・保育課程を編成しなければならない。この授業で │ │ 教育課程の編成・保育課程の編成と指導計画の作成について理解すると共に、計画、実践	
	一教育的はの場所は、保育的はの場所には、計画、実践 察・評価、改善の過程について全体構造を動態的に理解することを目標とする。。	& 、 ■
~ ~ ~ ~		
授業計画	第1週 カリキュラムの基礎理論	
	第2週 「保育所における保育の計画」「幼稚園の教育課程・指導計画」と評価の意義	
	第3週 計画、実践、省察・評価、改善の過程の循環による保育の質の向上	
	第4週 保育課程・教育課程編成のための基本(1) 子どもの発達、環境構成	
	第5週 保育課程・教育課程編成のための基本(2) 保育者の援助	
	第6週 保育課程・教育課程編成のための基本(3) 地域の実態	
	第7週 保育課程・教育課程編成のための基本(4) 園の実態	
	第8週 保育課程・教育課程編成のための基本(5) 行事	
	第9週 保育課程の編成手順	
	第 10 週 教育課程の編成手順	
	第 11 週 指導計画の作成	
	第 12 週 保育所・幼稚園における保育の評価	
	第 13 週 保育の評価:子どもの経験からの振り返り	
	第 14 週 試験・まとめ	
	第 15 週 まとめ	
指導方法	1.風邪を引いているときには、必ずマスクをすること。	
履修上の	2 . オープンキャンパス等で教室変更があると授業内容の変更をする場合がある。	
注意		ある。
	学生は、このことをしっかり頭に入れて授業に出てもらいたい。 	
 成績評価の	筆記試験(100%)	
方法	年記記録で50点未満の場合には、毎授業時に提出された「授業のまとめ」を評価して	510
	点以下の範囲で加点する。	
教 科 書	『新保育課程・教育課程論』(金村美千子編著、同文書院)	
参考文献		

授業科目	保	育「	内 容	総	論	単位数	1	担当教員	井「] 正	彦
講義のねら	子育で	をめぐる	3社会状况	ぱ、著	しい出生	上率の低下に	よりと	レ シ子化が深刻に	加速する	なか心	痛む
いと概要								には、子育で			
								育園の一体型			
								D変化がめまく 、子育ての現 [‡]			
								、丁育での呪ょ 育所保育指針I			
								深められるよう			
授業計画	第1週	オリエン	テーション								
	第2週	保育現場	の現状につい	,1T							
	第3週	保育所と	幼稚園につい	,1T							
	第4週	保育所保	育指針・総関	則							
	第5週	保育所保	育指針・子の	どもの発達	<u> </u>						
	第6週	保育所保	育指針・6 7	か月未満児	の保育の	为容					
	第7週	保育所保	育指針・6 7	か月から 1	歳3か月	未満児の保育の内	容				
	第8週	保育所保	育指針・1 歳	歳3か月か	ら2歳未済	満児の保育の内容 	\$				
	第9週	保育所保	育指針・2 🏗	歳児の保育	の内容						
	第 10 週	保育所保	育指針・3点	歳児の保育	の内容						
	第 11 週	保育所保	育指針・4点	歳児の保育	の内容						
	第 12 週	保育所保	育指針・5 歳	歳児の保育	の内容						
	第 13 週	保育所保	育指針・6点	歳児の保育	の内容						
	第 14 週	これから	の子育て支持	爰について	·						
	第 15 週	試験									
指導方法 履修上の	配布し	たプリン	ノト、資料	料等を使	って講乳	§を行う。保	育現均	場での事例を取	ひ入れる	,	
渡 上 の 注											
, ,											
 成績評価の	筆記試點	∌ (6∩º	。 6) しポ	- ト (?	20%)	授業態度(2 N º	<u>(</u>			
方法	— HO H≯V®7	., (0 0 /	- X - V	1 (2	- 0 /0 X	XX/W/X	_ 0 /	- /			
教科書	『幼稚園	園教育要 令	頁・保育所	「保育指	針(原本	忲)』(文部科:	学省	・厚生労働省、	チャイル	レド社)	
参考文献											

授業科目	保育内容(健康) 単位数 1 担当教員 北洞誠 —
講義のねら	将来の子どもたちの真の自立を考えた時、保育者としてどのように考え、子どもたちに接し
いと概要	て、働きかけたら良いのと言う課題に対して、健康面からアプローチして行きたいと思います。
授業計画	第1週 健康の考え方
	第2週 保育内容「健康」のねらいと内容
	第3週 乳幼児期の発育発達 (身体の発達)
	第4週 乳幼児期の発育発達 (情緒・社会性・パーソナリティの発達)
	第5週 乳幼児期の運動の必要性
	第6週 乳幼児期の運動の必要性
	第7週 最近の子ども達の問題点
	第8週 食育
	第9週 食の問題
	第10週 食の問題
	第 11 週 実際の保育の事例
	第12週 実際の保育の事例
	第 13 週 総まとめ
	第 14 週 総まとめ ・試験
15-34-3-31	第 15 週 映像学習
指導方法	席は学籍番号順に座ること。授業妨害行為 (私語、無駄話、雰囲気を乱す事等)やコミュニケーションを故意に取らない行為に対しては、教室から退去してもらう事があります。明らかな
履修上の 注 意	- ションを改意に取らない1月点に対しては、教室から返去してもらり事があります。 明らかな 授業放棄(他の作業に従事、長時間の睡眠や繰り返しの睡眠)に対しても退去を要請します。
	指示に従わない場合は、欠席扱いか試験欠格者として扱います。体調が悪く、姿勢を維持でき
	ない場合はいつでも教師に申し出ること。出欠確認後の遅刻は、授業終了後に、入室時刻と共
	に申し出ること。申告のない場合は欠席扱いとなります。受け身で授業に参加するのではなく、
	保育の専門家となるべく積極的に知識や思考法を吸収しようとする事。必要に応じてビデオを 鑑賞します。
成績評価の	筆記試験 (レポートを含む)(80%) 授業態度等(20%)
方 法	
教 科 書	『保育内容「健康」』(宮下恭子編、大学図書出版)
参考文献	

				1	1				 -
授業科目	保育	有内容(人間	関係)	単位数	1	担当教員	丸	橋 聡	美
講義のねら		容の領域「人間関係							
いと概要		かかわる力を養う観							
		うまく集団に順応て						合い、	豊かな
) がもてるような集団					-	送ナケ	+
		が人とかかわる力を いのかを学ぶ。「幼							
		に実践事例を取り上げ に実践事例を取り上げ			、日 1日 7	とし」 ロンが自り中 パック	14で頃	ል / / ሬ	יים,
授業計画	第1週	保育の基本と人とのかか							
	第2週	人とのかかわりに関する	領域「人間関係 」	ı					
	第3週	人とのかかわりの発達(1)						
	第4週	人とのかかわりの発達(2)						
	第5週	子どもの生活と人とのか	かわり(1)						
	第6週	子どもの生活と人とのか	かわり (2)						
	第7週	遊びのなかで育つ人との							
	第8週	遊びのなかで育つ人との	かかわり (2)						
	第9週	遊びのなかで育つ人との	かかわり (3)						
	第 10 週	人とのかかわりを育てる	保育の実践(1)						
	第 11 週	人とのかかわりを育てる	保育の実践(2)						
	第 12 週	人とのかかわりの育ちを	見る視点(1)						
	第 13 週	人とのかかわりの育ちを	見る視点(2)						
	第 14 週	人とのかかわりを育てる	保育者の役割						
	第 15 週	領域「人間関係」をめぐ	る諸問題						
指導方法 履修上の 注 意		¤心に行なう。 5じてビデオ視聴を取	(り入れ、資料	4を配布しな	がら進	≛める。			
成績評価の 方 法	レポート	- (50%) 課題(2 5 %) 授業	態度(25	%)				
教 科 書	『家庭さ	援の保育学』(編著	武藤安子・	吉川晴美・村	公永あ	けみ、建帛社)		
	『幼稚園]教育要領』『保育所(保育指針』						
参考文献									

授業科目	保	育内	容 (環	境)	単位数	1	担当教員	中	村	陽	_
講義のねら	「幼科	園教育要	領」におり	ナる保	育内容	「環境」は、	「周囲	のさまざまなヨ	環境に興	味を	·持って	てか
いと概要								」観点から示る				
VIC 1W. X											_	
	のなかで	で、幼児期	まにおいて	目然と	直接触	れ合う体験に	きわ	めて重要である	ることか	強調	されて	CLI
	る。これ	は、「保証	育所保育 指	針」に	こおいて	も基本的に同	目様で	ある。				
	子ども	らが有意義	な自然体	験を得	るため	には、保育者	が身	近な自然環境Ⅰ	こついて	さま	ざまた	は知
	_							。本講では、名				
							100	。 个冊 (18、 2	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	15MC	. 00 /3 //.	J*12
	リと保育	首首の週切	な援助に	שוני	具体的同	こ字小。						
授業計画	第1週	保育内容(〔環境〕の保	育思想と	:歴史							
	第2週	幼稚園教育	育要領の領域	「環境」	の内容							
	第3週	保育所保育	育指針の領域	「環境」	の内容							
	第4週	フレーベル	レの思想と保	育内容 (環境)							
	第5週	明治期の傷	保育と思想									
	第6週	大正・昭和	ロの保育思想	と環境								
	第7週		≤誘導保育論									
	第8週	園庭の環境					•••••		•			
	第9週	保育室の斑	景境									
	第 10 週	動物の飼育	Ì									
	第 11 週	植物の栽培	Ė									
	第 12 週	園外保育	お散歩									
	第 13 週	園外保育	遠足									
	第 14 週	自然遊び										
	第 15 週	季節と保育	育環境									
指導方法	将来约	か児教育に	携わるもの	のとし	て自覚を	を持ち、問題	意識な	を持って取り組	むこと。	,		
履修上の												
注意												
工 思												
成績評価の	期末試験	美(_{70%}) 小テス	. ト (3	30%)							
方 法				•								
教 科 書	『 4九壬仕 暦	勃容西经	· 但容能	早产七	針 / 百っ	大人人文部科	学业	 ・厚生労働省、	チャイ	川, ド・	木汁	
					-			· /字工力 側 目 、	ノヤイ。	ירו עו	÷↑↑⊥)	
			-			レーベル館						
	『保育所	保育指針	解説書』(厚生党	労働省、	フレーベル館	官)					
参考文献	必要に応	いて紹介	<u></u> する。									

授業科目	保育内容(言葉) 単位数 1 担当教員 高原典子
講義のねら	言葉は、子どもが人間らしく生きる力を育て、表現するうえで大切なものです。
いと概要	本科目では、乳幼児の言葉の発達について学ぶと共に、子どもの豊かな言葉を育むために保
V . C 1% X	育者として必要な言葉の遣い方を学びます。保育者としてのより良いコミュニケーションは、
	子どもと接する時だけでなく、保護者への対応や職場での人間関係も円滑にします。
	さらに本科目では、子どもの言葉や想像力、創造性を豊かにするための保育文化財(素話・
	わらべうた)についても演習を積みます。特に言葉を用いる保育文化財「素話」については一
	人ひとりが発表を行い、保育実技の習得を目指します。
授業計画	第1週 <人間にとっての言葉について> 言葉の意義とはたらきについて学ぶ。(教科書 P1~11)
	第2週 <言葉を豊かにする保育文化財 > 素話についての理論を学び、演習を行う。
	<多様な言葉について>「まばたきの詩人・水野源三」のドキュメンタリービデオを観て、言葉の表現の多様 第3週 さと大切さについて学ぶ。(教科書 P3~4)
	第4週 <言葉を豊かにする保育文化財 > 乳児の言葉を育むわらべうたの特性について学び、演習を行う。
	第5週 <乳幼児の言葉の発達 >満1歳頃までの乳児の言葉の発達について学ぶ。(教科書 P42~44)
	第6週 <乳幼児の言葉の発達 > 1 ~ 2歳頃の乳児の言葉の発達について学ぶ。(教科書 P44~46)
	第7週 <乳幼児の言葉の発達 > 3 ~ 4頃の幼児の言葉の発達について学ぶ。(教科書 P46~50)
	第8週 <乳乳児の言葉の発達 > 5 ~ 6歳頃の幼児の言葉の発達について学ぶ。(教科書 P50~55)
	第9週 乳幼児の言葉の発達 ~ の復習テストとまとめ
	第 10 週 〈保育者としてのかかわり方を学ぶ〉 DVD「せんせいにもきかせて」を観て、保育者の言葉について考える。
	第 11 週 〈より良いコミュニケーションをめざして 〉 保育者の言葉を育む (教科書 P130~134)
	第 12 週 (より良いコミュニケーションをめざして) 保育者の言葉を育む (教科書 P134~138)
	第 13 週 〈言葉に関する問題について〉 子どもの言葉の障とくへのかかわり方を学ぶ。(教科書 P139~143)
	第 14 週 〈言葉を豊かにする保育文化財演習〉 「素話」のまとめ
	第 15 週 テストと総まとめ
指導方法	本科目では、第5週目以降、素話を語る個人発表に取り組みますので、各自テキストをよく
履修上の	覚え練習して臨んで下さい。
注意	
 成績評価の	筆記試験(40%) 実技(40%) レポート(20%)
方 法 	
お な ま	
教 科 書	『言葉』(関口準著、大学図書出版)
参考文献	DVD『映像で見る 0.1.2 歳児のふれあいうた、あそびうた』(汐見稔幸監修、エイデル研究所)
2 3 A RIA	『おはなしのろうそく』(東京子ども図書館)『小さなおはなし集』(大竹麗子作 おはなしかご)
	いはないくり ノー・ (木下) に (区間間) いでなのはなり未乳 人口展丁下 のはなりがし)

	1			1		1	1					
授業科目	保育	育内容(音楽表現)	単位数	1	担当教員	高	崎	和	子		
講義のねら いと概要	と実技をこの搭	保育内容の領域「表現」について、子どもの音楽表現に関する内容を中心に、その指導理念と実技を学びます。 この授業では、子どもの生活の中での音楽に関する表現活動を理解し、援助するために必要な知識と技術を身につけるとともに、自らの感性を豊かにし、そしてリズミカルな表現を楽しむことを目標とします。										
授業計画	第1週	領域「表現」のとらえ方、領域	「表現」の	のねらいと内容に	こついて	ζ						
	第2週	子どもの発達と音楽表現活動										
	第3週	子どもの表現の援助者としての	資質につい	1て	•••••				•••••			
	第4週	保育における「わらべうた」あ	そびの意	義と音楽的構造は	こついて	τ						
	第5週	絵かきうたの演習										
	第6週	絵かきうたの創作・発表										
	第7週	パネルシアター(1)保育の中										
	第8週	パネルシアター(2)うたを取	り入れたノ	パネルシアター 0)演習							
	第9週	乳児のふれあいあそびうた										
	第 10 週	生活のうた、手あそび										
	第 11 週	季節のうたあそび										
	第 12 週	行事と音楽										
	第 13 週	手あそびの創作(1)テーマの	設定・作品	品の制作								
	第 14 週	手あそびの創作(2)作品の制	作・練習									
	第 15 週	発表・まとめ										
指導方法 履修上の 注 意		⊉念についての講義と実技 ⊆げる教材や課題によって.					進めま	きす。				
成績評価の 方 法	レポート	~(10%) 作品(30%	6) 実技	支(30%)	授業	態度(30%)					
教 科 書	『実用こ	こどものうた』(田口雅夫・	·高崎和·	子共編、カワ	ノイ出	版社)						
参考文献												

授業科目	保育内容(造形表現I) 単位数 1 担当教員 豊泉尚美									
講義のねら い と 概 要	この授業では、保育内容「表現」について、主に造形表現の教材研究を行います。制作に向かいながら、「音楽表現」や「人間関係」等、関連する教科とも連携を図り、学生一人ひとりが様々な表現方法を身につけ、子どもたちとかかわることができるように支援していきます。									
授業計画	第1週 幼児の造形表現について									
	第2週 自己紹介グッズ 制作(1)									
	第3週 自己紹介グッズ 制作(2)									
	第4週 造形教材について(1) エプロンシアター・絵本・紙芝居 等									
	第5週 造形教材について(2) パネルシアターについて									
	第 6 週 パネルシアター制作(1)									
	第 ^{7 週} パネルシアター制作(2)									
	第8週 パネルシアター制作(3)									
	第 ^{9 週} パネルシアター制作(4)									
	第 10 週 パネルシアター制作 (5)									
	第 11 週 パネルシアターの演出方法(6)									
	第 12 週 パネルシアター発表 (1)									
	第 13 週 パネルシアター発表(2)									
	第 14 週 パネルシアター発表 (3)									
	第 15 週 造形作品展示とまとめ									
指導方法 履修上の 注 意	・作品の提出期限を厳守すること ・制作に要する材料費は自己負担とします。(パネルシアター材料費として 800~1700 円かかり ます。)									
成績評価の 方 法	作品(40%) 発表(40%) 授業態度(20%)									
教 科 書	『造形表現』(新井規夫・染谷哲夫・豊泉尚美 他、圭文社)									
参考文献										

io 및 II	/0 2											
授業科目		育内容(音楽表現) 単位数 1 担当教員 高崎和子										
講義のねら いと概要	開してい この持	子どもの活動は、一つの領域に留まらず、さまざまな領域に関連を持ちながら、総合的に展開していくものであるから、広い視野に立っての理解と実践が必要となります。 この授業では、「音楽表現」で学んだ知識・技能を活かし、他領域と連携させながら、総合的な表現活動の指導法について学びます。										
授業計画	第1週	授業のねらいや進め方について										
	第2週	新しい子どものうたあそび(1)季節のうたあそび										
	第3週	新しい子どものうたあそび(2)じゃんけんあそび										
	第4週	新しい子どものうたあそび(3)ふれあいあそび										
	第5週	新しい子どものうたあそび(4)身体あそび										
	第6週	外国のあそびうた										
	第7週	行事と音楽										
	第8週	リズムあそび、リトミック(1)リズミカルなうたあそび										
	第9週	リズムあそび、リトミック(2)保育の中におけるリトミックの活用法										
	第 10 週	リズムあそび、リトミック(3)リズム楽器を用いたあそび										
	第 11 週	効果音としての音楽の使い方										
	第 12 週	総合的な表現活動の研究(1)表現形態・テーマの設定・イメージづくり										
	第 13 週	総合的な表現活動の研究(2)作品の制作										
	第 14 週	総合的な表現活動の研究(3)総合練習										
	第 15 週	発表・まとめ										
指導方法 履修上の 注 意		は必要に応じて取り入れますが、実技を中心として進めます。 - プによる創作活動は、自主的な態度で積極的に進めてほしい。										
成績評価の 方 法	レポート	ト(10%) 作品(30%) 実技(30%) 授業態度(30%)										
教 科 書	『実用こ	こどものうた』(田口雅夫・高崎和子共編、カワイ出版社)										
参考文献												

	Ι									
授業科目	保育	了内容(造形表現 ————————————————————————————————————)	単位数	1	担当教員	豊	泉	尚	美
講義のねら		発業では、幼児の造形表現 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					の感性	を尊	重して	つつ、
いと概要		なを引き出すための、望ま					4 7 1	L /		
		₹実中は、「様々な素材と战 すの視点に立って行うよう			する	」ということ	を子と	もの側	」と保	肖
	1.则、叫人	1の税点に立って11つよう	に氷めま	9 .						
授業計画	第1週	授業のねらいや進め方について	-							
	第2週	保育における造形活動(1)								
	第3週	保育における造形活動(2)								
	第4週	幼児の発達と造形表現(1)								
	第5週	幼児の発達と造形表現(2)								
	第6週	造形活動の技法と実践方法(1)							
	第7週	造形活動の技法と実践方法(2	!)							
	第8週	造形活動の技法と実践方法(3	1)							
	第9週	造形活動の技法と実践方法(4	ł)							
	第 10 週	造形活動の技法と実践方法(5	i)							
	第 11 週	造形活動の技法と実践方法(6	i)							
	第 12 週	造形活動の指導計画と制作(1)							
	第 13 週	造形活動の指導計画と制作 (2	!)							
	第 14 週	造形活動の指導計画と制作 (3	;)							
	第 15 週	造形表現活動の意義を考える								
指導方法	・制作に	要する材料費は自己負担	とする。	(授業開始後	、材	料費として約	2 0 0 [円徴収	ける	。)
履修上の	・作品の)提出期限を厳守すること	。(作品)	はファイル等	にま	とめて学期末	に提出す	する)		
注意										
 成績評価の	筆記試験		6) 発表	₹(20%)	授業	態度(20%)			
方法			, ·	,						
カ む ま	『辻生π√⇒	EIB / 纯什坦士. 沈公坛士	. 曲白半:	*	ァナト					
教 科 書	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	表現』(新井規夫・染谷哲夫	豆形问	天 心 王乂	.↑ ⊥)					
参考文献										

授業科目	保	育	指	導	方	法	単位	立数	2	担当教員	井「] j	Œ	彦
講義のねら	子ども	達はヨ	互感を	使って	自分を	を取り巻く	〈外界で	をひと	D • 7	ンとつ確かめ、	かかわっ	てい	きき	きす。
いと概要	このよう	な子と	どもの	姿から	保育指	i 導を考え	えるにる	あたり、	「子	どもの中に何か	が育とう	として	C l1	るの
										などを重視し、				
										のアンテナと愛				
										を通して各行事 における指導7				
						^{木日子} 門で ことをねら				にのける相待が	1位で子	U·、 1	不月1	ВC
授業計画	第1週		ンテー		., .			第 16 退		 「導計画と保育指導	ナ 注につい			
	77 1 22	7,71	- <i>-</i>) <u> </u>						特別側と休月拍特	刀本に ンい			
	第2週	0 歳児	の保育の	のねらい	١			第 17 退	4	月の園行事・考え	方と保育指	導 		
	第3週	1歳児	・2歳!	児の保育	のねら	l I		第 18 退	5	5月の園行事・考え		i導 		
	第4週	3 歳児	の保育の	のねらし	١			第 19 退	6	5月・7月の園行事	・考え方と	:保育指	導	
	第5週	4 歳児	き・5 歳!	児の保育	のねら	L1		第 20 追	月	R育指導方法の基本	について			
	第6週	保育活	動と園	行事につ	いて			第 21 追	月	R育の魅力と保育指	導方法につ	いて		
	第7週	9月	の園行	事・考え	方と保	育指導		第 22 追	月	R育方法の原理につ	いて			
	第8週	10月	の園行	事・考え	方と保	育指導		第 23 追	9	し幼児の理解と保育	指導方法に	ついて	<u> </u>	
	第9週	11月	の園行	事・考え	方と保	育指導		第 24 追	边	きびをとおしての保	育指導方法	.		
	第 10 週	12月	の園行	事・考え	方と保	育指導		第 25 追	環	環境による保育指導	方法			
	第 11 週	1月	の園行	事・考え	方と保	育指導		第 26 追	图 伢	保育における個と集	団について			
	第 12 週	2月	の園行	事・考え	方と保	育指導		第 27 追	幺	カ児期の保育と小学 		連		
	第 13 週	3月	の園行	事・考え	方と保	育指導		第 28 退	1 t	也域と連携した保育 	について			
	第 14 週	予備日	1					第 29 退	1 F	⁵ 備日				
	第 15 週	試験						第 30 追	直	式験				
指導方法 履修上の 注 意	配布し	<i>、</i> たプ!	リント 、	、資料	等を係	使って講乳	§を行う	う。保証	育現 均	易での事例を取	り入れる	.		
成績評価の	筆記試験	€ (6(0%)	レポ-	- ト (20%)	授業態	態度(2 0 9	%)				
方 法														
教 科 書														
参考文献														

授業科目	保	育	指	導	方	法	単作	立数	2	担当教員	菊	地	政	隆
講義のねら いと概要	で繰り屋め発達さる。本舗	なげてい と 5 領域 講義では 保育内容	Nく日々 域のかだ は、幼科 Fを総合	マの生 かわり t園、	活や遊) を見振 保育園 : 捉える	びの中 居えなか の両側i 視点を ⁵	に各領 「ら総合 面より 養って	域の側i 合的に係 、出来・ いくと・	面が 柔育 を るだ とも	 われるのではが 埋めこまれてい を理解すること け実践事例や何 に、保育を展開	\るの : が保 : 保育実	である 育者に 技を縋	る。そ I 求め 城り込	のた られ みな
授業計画	第1週	現代の	子ども					第 16 週		1行事の考え方と指	導方法			
	第2週	手遊び						第 17 週		1行事の考え方と指	導方法			
	第3週	手遊び						第 18 週		1行事の考え方と指	導方法			
	第4週	連絡帳	の書き方	ī				第 19 週	! 屋	[行事の考え方と指	導方法			
	第5週		の書き方					第 20 週		1行事の計画と指導	(保育	参観)		
	第6週	ペープ・	サートの	作成				第 21 週	! 屋	通行事の計画と指導	(保育	参観)		
	第7週	ペープ	サートの	作成				第 22 週		1行事の計画と指導	(保育	参観)		
	第8週	ペープ	サートの	作成				第 23 週		園行事の計画と指導(運動会)				
	第9週	子ども	と言葉					第 24 週		1行事の計画と指導	(運動	会)		
	第 10 週	子ども	と環境					第 25 週	! 屋	3行事の計画と指導	(運動:	会)		
	第 11 週	子ども	と人間関	係				第 26 週		1行事の計画と指導	(発表:	会)		
	第 12 週	子ども	と表現					第 27 週		1行事の計画と指導	(発表:	슾)		
	第 13 週	子ども	と健康					第 28 週		1行事の計画と指導	(発表	会)		
	第 14 週	子ども	と遊び					第 29 週	! #	ミとめ				
	第 15 週	まとめ						第 30 週	自言	弌験				
指導方法履修上の注意	保育者、	保育者、幼稚園教諭になる自覚のないものには、単位を認定しません。												
成績評価の 方 法	筆記試験(30%) 製作(20%) 実技(20%) 授業態度(30%)													
教 科 書		『まあせんせいと HAPPY 手あそび・歌あそび』(菊地政隆、小学館) 『6 歳までにしておきたい すこやかこころ育て』(菊地政隆・・・赤ちゃんとママ社)												
参考文献														

授業科目	乳	児	保	育	単位数	2	担当教員	岡	本 良	· 子
 講義のねら	地域(D子育て支援。	としての孚	児保育の名	 割と保育実	践と	<u> </u> を結びつけてヨ	里解でき	ること	を目的
いと概要	とする。	71 13 (2.12)		מ כי בייאון טינט				101 00		C H + 3
	到達目	目標は、乳児の	保育の実践	も	二留まらず、	乳幼	児の成長発達の	D保障と	ともに	働く母
	親を支え	えてきた乳児の	保育の歴史	2や現在の子	子育ての問題	を理	解し、様々など	ノーシャ	ル・サ	ポート
							足えられるよう			-
							保育の基礎とな			
		礼児保育の歩る 別や連携につい		6首が必要と	こなる背景と	乳児	保育の役割を理	里解し、	さらに	関係機
		オリエンテージ			*** 1	_				
IX X II II	第1週	乳児保育とは何			第 16 道	T_	と 会福祉と乳児保育			
	第2週	新生児の成長 ³ (成長発達の			第 17 证	F	t会福祉の歴史と乳 (戦後の社会福祉		į)	
	第3週	新生児の成長系 (保育内容と)	第 18 道	(t会福祉の歴史と乳 社会福祉基礎構		:乳児保育)
	第4週	-	戈長 、機能	的発達と援助	第 19 词	⊞ '-	社会福祉の歴史と乳 高度経済成長と)	
	第5週		的発達と援助)	第 20 迫	(t会福祉の歴史と乳 社会福祉基礎構		.児保育)
	第6週		戊長 、機能	的発達と援助	第 21 词	围爹	3様な乳児保育の場 	(保育所	i)	
	第7週		発達と援助)	第 22 词		る様な乳児保育の場 		:)	
	第8週		発達と援助		第 23 词	固 (l児保育の必要性と (保護者の精神的	不健康とか	かわる勇	要因)
	第 9 週		戊長、機能的	発達と援助)	第 24 词	固 (l児保育の必要性と (健全育成)			
	第 10 週		発達と援助	·	第 25 词	固 (l 児保育の必要性と	援)		
	第 11 週	2歳児とそれた	長、機能的発	達と援助)	第 26 词	固 (l 児保育の必要性と	完)		
	第 12 週	2歳児とそれた (精神的発達	達と援助)		第 27 词	固 (l 児保育の必要性と)		
	第 13 週	2歳児とそれた (精神的発達		達と援助 	第 28 词	固 (R族への援助と関係 ケースマネジメ	ント)		
	第 14 週	乳児期の基本的	り生活習慣と	援助	第 29 词		で族への援助と関係 関係機関の役割		!携 	
	第 15 週	試験・まとめ			第 30 证	固訂	t験・まとめ			
指導方法	(1)誰	 	ト、資料、	映像等を用	いて授業を	すする	かる 。			
履修上の	(2)擠	受業中の私語、	携帯電記	等の使用、	飲食、化粧	は禁止	上する。			
注 意										
成績評価の	筆記試驗	矣(70%)	授業態度	(30%)						
方 法										
教 科 書	授業でス	プリントを配る	ちする。							
参考文献	必要に応	ふじて随時紹 介	个する。							

授業科目	乳	児	保	育	単位数	2	担当教員	山	下信	土 香				
講義のねら	・乳児 <i>の</i>)特徴を知り、	乳児に合	わせた援助	 の在り方や	·)、乳		達の理解	解を深	める。				
いと概要	・保育所	「保育指針のね	ねらいや内	容を理解し	、集団生活	の中	での援助方法を	学ぶ。						
	乳児期	用の特徴を理解	解し、保育	所における	乳児保育の	捉え	.方を保育所保育	指針に	照らし	合わせ、				
	乳児にと	こって望まし	ハ保育とは	は何か、保育	育所の現場に	こて谷	设立つ実践例を 参	参考に、	具体的	つな援助				
	論も考え	たていきたい。												
授業計画	第1週	がエンテーション(教 乳児、乳児保育 環境				週	手作り玩具の発表							
	第2週	妊娠から出産る 「うまれるよ」		オ「生命誕生」	第 17	週	事故と安全							
	第3週	妊娠から出産	まで		第 18	週	事故と安全							
	第4週	新生児、未熟児	艮		第 19	週	乳幼児突然死症候群	について						
	第5週	運動機能につい	1て(出生~	15ヵ月)	第 20	週	病気と予防接種							
	第6週	運動機能につい	1て(15 ヵ月	~ 3 歳児)	第 21	週	集団保育の中での乳	児の看護						
	第7週	集団の中での乳	乳児保育(0	歳児)	第 22	週	沐浴実習、着脱、お	むつ替え、	抱っこ	・おんぶ				
	第8週	集団の中での乳	礼児保育(1	~ 2 歳児)	第 23	週	乳児観察についての	グループ記	寸議					
	第9週	授乳、離乳食、	食事		第 24	週	デイリープログロム	とおとなの	の動き					
	第 10 週	排泄の発達			第 25	週	乳児の日常の計画と	記録						
	第 11 週	ことばの発達			第 26	週	家庭との連携							
	第 12 週	人とのかかわり	りについて		第 27	週	乳児保育が求められ 	る社会的都	背景					
	第 13 週	睡眠、生活リス	ズムについて		第 28	週	乳児保育の制度的理	解						
	第 14 週	乳児の発達に関	叩した玩具		第 29	週	乳児保育の今後の課	題						
	第 15 週	試験			第 30	週	試験							
指導方法		デオや OHP な					0							
履修上の		育現場より事作 1月 17 17 17 17 17 17 17				を考	祭する。							
注	1末員	育現場で生か?	9 C C 7 T I	1米の休育技	(例を子が。									
 成績評価の	筆記試験	美(60%)	レポート	(10%)	発表(15	%)	実技(5%)	授業熊原	隻(1	0 %)				
方法		管記試験(60%) レポート(10%) 発表(15%) 実技(5%) 授業態度(10%)												
教 科 書	『保育所	「保育指針解 詞	説書』(厚:	生労働省、	フレーベル1	館)								
	『乳児伢	保育~一人ひ。	とりが大切]に育てられ	,るために ~	a (ī	吉本和子、エイ:	デル研究	所)					
参考文献	『幼稚園	園教育要領・伯	呆育所保育	指針抜き刷	り版』(建	帛社)							

					1	1	T	ı				
授業科目	指	導	技	術	単位数	2	担当教員	菊坊	也正	女 隆		
講義のねら	保育に	おける指導	を考えるに	あたり、「	幼稚園教育要	要領.	」や「保育所保育	育指針」	では、	幼児の		
いと概要	主体的生	≦活、主体的	活動を強調	問している。	、そうした考	えた	こに立つ保育では	は、保育	者が子	どもと		
			ら、さらに	子どもの	興味・関心・	要才	えなどをくみとり	り、相互作	作用と	:しての		
		要となる。	–		_							
							ノての指導 "、" 糺					
	ひとりに	-即96括导	はとを実	践的兄地人	いり埋解し、	拍导	的技術の習得か	いてらるり	くつに	9 වං		
授業計画	第1週	幼稚園の現状	、授業の進め	方	第 16 词	周	保育者の実務()					
	第2週	幼稚園教育の	基本、保育者	の役割	第 17 词	周	保育計画と活動の展	開()				
	第3週	幼児の発達と	遊び()		第 18 i	周	保育計画と活動の展	開()				
	第4週	幼児の発達と	遊び()		第 19 i	周	うたあそびについて					
	第5週	保育者として	の資質		第 20 i	周	折り紙を使った活動 					
	第6週	保育の計画			第 21 词	周	主活動について					
	第7週	保育者の実務	()	部分実習の展開・指								
	第8週	手遊びについ	τ		第 23 i	周	行事へのとりくみ()				
	第9週	手遊びの実習			第 24 词	周	行事へのとりくみ()				
	第 10 週	絵本の特徴と	読み聞かせ方		第 25 i	周	保育者の実務()					
	第 11 週	絵本の読み聞	かせの実習		第 26 i	周	子どもとのかかわり	()				
	第 12 週	紙芝居の特徴	と演じ方		第 27 词	周	子どもとのかかわり	()				
	第 13 週	紙芝居の実習			第 28 词	周	保護者とのかかわり	()				
	第 14 週	教育実習に向	けて(活動の	ヒント)	第 29 i	周	保護者とのかかわり	()				
	第 15 週	まとめ			第 30 词	周	まとめ					
指導方法	講義を中	心に進める	が、実習も	行う。	·							
履修上の	配布教材	も使用する	ので、紛失	のないよう	うにすること	0						
注 意							るので、指示に	:従いそ2	える	こと。		
	実習期間	見を考慮し、	授業内容の)順番が変更	更することも	ある	•					
 成績評価の	筆記試験	₹ (70%)	授業態度	<u></u> ・授業への	 取り組み (3	3 0 9	%)					
方 法		,										
教 科 書	『実習に	役立つ保育		<u></u> 頼ユカリ著	 、創成社)							
	『実習に役立つ保育技術』(百瀬ユカリ著、創成社) 『まあせんせいとHAPPY手あそび&うたあそび』(菊地政隆著、小学館)											
参考文献	その都度	夏必要に応じ	て紹介する) o								

授業科目	指		 技		単位数	2	担当教員	读	藤	朋	子	
講義のねら							 きだせるような指					
いと概要	各教科		識を総合的	勺に活用し、			必要な心構えや専				-	
授業計画	第1週	オリエンテー	ション、幼稚	園の現状	第 16	週	保育者としての資質					
	第2週	幼稚園教育の	基本		第 17	週	保育計画と活動の展	開				
	第3週	保育者の役割			第 18	週	部分実習の展開と指	導方法				
	第4週	保育者としての	の資質		第 19	週	子どもとのかかわり					
	第5週	幼児の発達と	遊び		第 20	週	行事へのとりくみ					
	第6週	教材の特徴と		作りおもちゃ	第 21	週	指導用教材の作成					
	第7週	教材の特徴と (ペープサー			第 22	週	指導用教材の作成					
	第8週	教材の特徴と	活用方法(折	り紙、手品等	第 23	週	指導用教材の作成					
	第9週	教材の特徴と	活用方法(絵	本、紙芝居等	第 24	週	手作り教材を使った	模擬保育	i			
	第 10 週	手あそびについ	,1T		第 25	週	手作り教材を使った	模擬保育	i			
	第 11 週	手あそびの実	習		第 26	週	手作り教材を使った 	模擬保育	i			
	第 12 週	絵本の特徴と	読み聞かせ方		第 27	週	子どもとの対応					
	第 13 週	絵本の読み聞	かせの実習		第 28	週	保護者との対応					
	第 14 週	紙芝居・素話の	の特徴と演じ	方	第 29	週	保育者としての資質	をたかめ	りる			
	第 15 週	まとめ			第 30	週	まとめ					
指導方法 履修上の 注 意	・授業で	・講義と実習を行う。 ・授業で使用する教材・材料等を各自が用意することがあるので、指示に従いそろえること。 ・実習期間を考慮し、授業内容の順番が変更することもある。										
成績評価の 方 法	筆記試験	€(40%)	発表・実	技等(30	%)授業息	態度 ((30%)					
教 科 書	『育て <i>0</i> .	心』上・下	(倉橋惣三	E著、フレ −	-ベル館)							
参考文献	必要に応	じて紹介す	る。									

授業科目	教	育	相	談	単位数	2	担当教員	加賀谷	崇文
講義のねら いと概要	向けて即	加言や援助指	導を行なう	5実践活動	である。昨今	子ど	問題について、 もの成長過程な 、教育相談活動	を認識せずに	親になっ
							える問題を紹介 ごの技法を紹介	-	また、相
授業計画	第1週	教育相談とは	可か						
	第2週	教育相談の実践	线						
	第3週	教育相談とカ'	ウンセリング						
	第4週	カウンセリン・	グの技法 1						
	第5週	カウンセリン・	グの技法 2						
	第6週	カウンセリン・	グの技法 3						
	第7週	子どもの発達							
	第8週	子どもに多く	見られる心理	的問題 1					
	第9週	子どもに多く	見られる心理	的問題 2					
	第 10 週	子どもに多く	見られる発達	の問題 1					
	第 11 週 	子どもに多く	見られる発達	の問題 2					
	第 12 週	子育ての悩み	とは						
	第 13 週	実践的練習				<u>.</u>			
	第 14 週	まとめ							
指導方法	第 15 週	レポートの作成 ジ式で行う。	烖						
履修上の	幼稚園	園の教育相談					情を理解する記		不可欠で
注 意) ある。 で	その姿勢を身	につけるた	めにも授業	美をしっかり!	聴きり	又るという構え	.を求める。	
成績評価の	レポート	~(90%)	授業態度	(10%)					
方 法 									
教 科 書									
参考文献									

授業科目	教	 育	———— 相	 談	単位数	2	担当教員	伊	藤	明	芳
 講義のねら	教育和	3談け 保育	老が相談を	・ (主に保証	[本)に対し	7	家庭や幼稚園に	ニおける	、マビ	≠ .の	数 容
開我の福号				-	-		がた。 とめれに図り 指導をおこなう				扒戶
V. C M X							題行動から保証			-	で、
							心へのサポー l				
	られるよ	こうになると	考えられる	0							
	本講義	遠では、教育	相談の基礎	的知識の習	3得と現場で	活き	る教育相談の写	実践的能	も 力の	育成	を図
	る。さら			安定と成長	にもアプロ	ーチし	ったいと考えて	いる。			
授業計画	第1週	1.イントロー教育相談									
	第2週	2.体験から ロールプ		要なこと を受ける時の ^身	基本姿勢]						
	第3週			を通じあうこと	٤]					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	第4週	3 . 相談実践(教育相談(の基本と応用 の基礎(1) [概:	要]							
	第5週		の基礎(2) [実	践へのヒント]					·····	
	第6週	教育相談(のためのカウン	ンセリング活用	∃						
	第7週	教育相談の	のための心理	アセスメント							
	第8週	教育相談の	のプロセス								
	第9週	4.事例から 子どもの		の問題(1) [登園	罰渋り]						
	第 10 週	子どもの	心の発達・心(の問題(2) [落ち	5着きなし]					······································	
	第 11 週	子どものの	心の発達・心(の問題(3) [保記	養者の心の問題]					
	第 12 週	5.保育者の/カウンセ	心の健康を育む リングの理論	t) 							
	第 13 週	エンカウ	ンター実習							·····	
	第 14 週	まとめ									
	第 15 週	今後へのアド	バイスと試験								
指導方法	講義を	中心におこ	なう。実際	その事例など	だをあげ、受	講生	にわかりやすい	1内容を	E心が	けた	۱۱.
履修上の	その他、	ロールプレ	イ、エンカ	ウンター等	手も取り入れ	、相	談やカウンセ!	ノング等	の体	験的	な学
注 意	習もおこ	こないたい。									
							引的な総合力が		_	そこ	こで、
					び考える意	欲を打	寺つことが求め	られる	•		
成績評価の	筆記試験	美(60%)	課題(4)	0%)							
方											
教 科 書	『子育て	支援を考え	るために』	(須永進[約	編] 蒼丘書	林)					
参考文献	講義の中	Pで必要に応	じて適宜紹	介する							

拉米以口	± <i>h</i>		+0	±.W	24 / 2. #h	0	+D V/ #b 므	_	-l <i>c</i>	##
授業科目	教	育 ————	相	談	単位数	2	担当教員	今		豊
i 講義のねら いと概要				· · · · -			問題について、 もの成長過程を	_		
いて恢安							もの成長過程で 、教育相談活動			
	てきた。	., (,,,)		177 L 31	2020		3713188782		- 0. 1.3.	
							こりうる問題を			く。また、
	相談の実	€践に必要な:	援助技術と	こして、心理	里カウンセリ゛	ングな	などの技法を紹	介して	いく。	
授業計画	第1週	教育相談とは	何か?							
	第2週	教育相談とは	何か?							
	第3週	子どもの発達の	の特徴							
	第4週	子どもの発達の	の特徴							
	第5週	子どもの発達の	の特徴							
	第6週	子どもに見られ	れる発達・心	理的問題						
	第7週	子どもに見ら	れる発達・心					·····		
	第8週	子どもに見ら	れる発達・心	理的問題						
	第9週	子どもに見ら	れる発達・心	理的問題				·····		
	第 10 週	子どもに見ら	れる発達・心	理的問題						
	第 11 週	相談の実践								
	第 12 週	相談の実践								
	第 13 週	相談の実践								
	第 14 週	相談の実践								
	第 15 週	まとめ・筆記	試験							
指導方法	講義形式		□ 如小艹	コ≐火 ━゚ L ιー エ	コナ/石(ナーラ)	راد الاستان ال	ᆂᅔᅖᄳᅷᄀ			
履修上の 注 意)教育相談で 態度が不可欠 [:]		は吹してに	チゼ似け、その	וויטועט	月で垤胜りる。			
71 /21			-	5授業をして	っかり聞き取	るとに	1う構えを求め	る。		
 成績評価の	筆記試験	美(50%)	課題(3	0%) 授業	業態度(20)	%)				
方 法										
 教 科 書	適宜、資	資料を配布する	る。							
参考文献	授業にて	適宜紹介す	る。							

授業科目	教 育	実	習	単位数	4	担当教員	
講義のねら いと概要		科目を総合的に	整理して、	幼稚園教育	現場	での園児、教	既に学習した講義、演 職員等とのかかわりと こを目的とする。
授業計画	実際のようの数分がでは、1)の数分がでは、1)のでは、1)	園教育の意義、 育の意義、 されているかを 日の様子のは 活者)とは 導基でのは 本り現実でを本場でのは 本りは 本りは でを体場に でを体場に でをはいての は、 に、指験に でをはいての は、 に、 で、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に	論教理でする自己児体の立ちの(職のでは、とうでは、いるのでは、いるのでは、ないでは、ないのでは、ないでは、ないのでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	職務まる。動す りが保計措めや なる。関い、者をに適りり自と案にの切り自と案にの切りに	人的、	か実地経験を指導による。	を身につける。 する。
指導方法 履修上の 注 意	ふさわしい言動が また、実習関係	がとれるように 系報告書類の提 こよって、実習	、日常生活 出遅延、乳 の停止、「	きにおいて十分 実習中の怠惰 中止等が行わ	分に留 、非行	留意すること。 庁等があった	を受け、実習生として 場合は、本学の「実習 幼稚園教諭免許状取得
成績評価の 方 法	実習園の評価がにわたる総合評価		り組み (5	0%) 実習日	目誌(30%) その	他課題等(20%)全般
教 科 書	『実習の手引き』	」(実習委員会)	、『よくわ	かる幼稚園実	[習』((百瀬ユカリ、	創成社)
参考文献	「幼児教育研究」	」の授業中に使	用する教科	料書及び参考	資料・	文献をよく参	参照すること。

授業科目	幼	児 教	育	 研 タ	ີ້ເ	単位数	1	1 1	 旦当教員	高	橋	惠			
講義のねら	幼児教	対育研究は	、教育第	実習に平行	して行		業で	あり、	実習の目的	勺、 幼科	建園の棚	幾能、幼			
いと概要	稚園教諭	前の職務内	容や、ぽ	美習手続書	類の作	F成につい	て学	習し、	実習参加意	意識の高	揚、各	音自の実			
	習課題と	:事後の学	習目標を	E立てる等、	教育	実習の意	衰を 高	高める	ものである	0					
		前授業の		-											
				D作成、各 Dたて方等を			、実	習の心)得、実習E	1誌や指	事業の	O作成及			
	_	で百日の美 間後授業の			⊄子/3\	۱ ₀									
					参加、	実習報告記	書の化	乍成等	を通して、	自己の	適性を	見直し、			
	子	ども観、	保育観及	なび幼稚園	教諭と	:しての使症	命感を	を考え	、今後の学	習課題	を設定	する。			
授業計画	第1週	教育実習、	幼稚園実習	習について		第 1	3 週	後期写	ミ習の目的 (参	加、責任	指導実習	1)			
	第2週	教育実習の	目的理解			第 1	7 週	後期写	ミ習参加の心得						
	第3週	前期実習の	目的(参加	』、観察実習])	第 1	3 週	部分、	責任指導実習	の留意点					
	第4週	前期実習参	加の心得			第 1	9 週	実習日	日誌の作成指導	i					
	第5週	実習手続き	書類の作品	成指導		第 2) 週	実習日	日誌の作成指導						
	第6週	7週 オリエンテーションについて 第22週 指導計画案の作成指導													
	第7週	3 7 2 7 7 3 7 2 7 2 7 2 7 2 7 2 7 3 7 3													
	第8週	8週 持ち物、身だしなみについて													
	第9週	100 Stores to the store to the													
	第 10 週	参加、観察	実習の留意	意点		第 2	5週	指導記	十画案の作成指	導					
	第 11 週	実習日誌の	作成指導			第 2	6週	実習認	果題と準備の説	明					
	第 12 週	実習日誌の	作成指導			第 2	7 週	オリコ	エンテーション	報告書、	実習報告	書の作成			
	第13週	実習課題と	準備の説明	归		第 2	3週	実習部	平価と反省						
	第 14 週	実習課題と	準備の説印	明		第 2	9 週	子ども	ら観、保育観の	確立と職	業倫理に	こついて			
	第 15 週	実習評価と	反省			第 3) 週	まとめ	>						
指導方法									で、原則と			-			
履修上の								派遣規	現制基準」	こよって	て禁じら	られてお			
注意	リ、実習	派追かで	さなくな	よるので十分	ガに留	(息するこ	= 。								
成績評価の	課題・レ	ポート (60%)	授業態度 (30%) 諸手続	き (1	10%))						
方 法															
お 1 キ	『実習の手引き』(実習委員会)、『よくわかる幼稚園実習』(百瀬ユカリ、創成社)														
教科書	" 美省の)手引き』(美省 委	貝会)『よ	(くわ)	かる幻椎園	美習	」(白	凞ユカリ、	創成社)				
参考文献	『幼稚園	教育要領	Ð												

授業科目	保育·	教職実践演習(幼稚園) 単位数 2 担当教員 豊泉・小堀・丸橋 他								
講義のねら	この演習を履修する者の教科に関する科目及び教職に関する科目の履修状況を踏まえ、幼稚									
いと概要	園教諭として必要な、知識及び技術を修得したことを確認していくものである。									
	幼稚園での(保育現場としての)視点を取り入れ、幼稚園教諭としての最小限必要な資質能力									
	を明確にし、演習形式によりこれまでに不足していると思われる知識、技術を各自が認識し、									
	積極的に身につけるように取り組める内容を展開する。									
授業計画	第1週	第1週 教職実践演習(幼稚園)の授業の進め方について・これまでの学修の振り返りについて								
	第2週									
	第3週	保育者の役割、職務内容、子どもに対する責任等について (グループ討議)								
	第4週	組織の一員としての自覚について (講義、レポート)								
	第5週	保護者や地域の関係者との人間関係の構築について(講義、グループ討議)								
	第6週	幼児理解について(講義、レポート)								
	第7週	^{37週} 幼児理解について(グループ討議、ロールプレイニング)								
	第8週	8週 学級経営・学級経営案の作成について(講義、レポート)								
	第9週	週 学級経営について(グループ討議)								
	第 10 週	週 実技指導								
	第 11 週	11週 実技指導								
	第 12 週	第 12 週 実技指導								
	第 13 週 保育内容、保育内容の指導力について(講義、レポート)									
	第 14 週 保育内容の指導力について (グループ討議)									
	第 15 週	資質能力の確認、まとめ								
指導方法	毎回のう	Fーマに沿って、講義、レポート作成、グループ討議を行う。各自が課題を持って積極								
履修上の	的に取り	9組むこと。								
注意	毎回の内	n容を積み上げながら取り組むため、原則として欠席はしないように。								
成績評価の	レポート	- (50%) 授業態度・授業への取り組み(50%)								
方 法	レル、 I (J ∪ /v) 1 (★/応及 1) 1 (J ∪ /v)									
教 科 書	必要に応	なじて、資料を配布または指示する(例:幼児教育研究にて使用しているテキスト持参)								
参考文献	必要に応	いまた で								

授業科目	保育所実習 単位数 2 担当教員 丸橋 聡 美									
講義のねら	保育士証取得を目的とする保育実習は、保育に関する講義や演習で学んできた内容を保育所									
いと概要	及び保育所以外の児童福祉施設等で実践するものである。保育所実習のうち前期実習が保育所									
	実習 になる。(後期実習は、保育所実習 として実施。)									
	保育所実習 の目標は、保育所の生活に参加し観察や子どもとのかかわりを通して子どもへ									
	の理解を深めるとともに、保育所の役割や機能、日々の保育の展開、保育の計画や記録及び自									
	己評価、保育士としての業務内容や職務倫理について学ぶ。									
	第1学年(二部は第2学年)に12日間実施。									
授業計画	実習施設について理解する									
	保育の一日の流れを理解し、参加する									
	子どもの観察とその記録より子どもを理解する									
	子どもの発達過程を理解し、子どもへの援助やかかわりを学ぶ									
	保育の計画や子どもの発達過程に応じた保育内容を学ぶ									
	子どもの生活や遊びと保育環境を学ぶ									
	子どもの安全及び疾病予防への配慮について理解する 									
	保育課程の意義を理解しそれに基づく指導計画を学ぶ									
	記録に基づく省察や自己評価を行なう									
	子どもの最善の利益を具現化する方法について学ぶ									
	保育士の業務内容や職員間の役割分担と連携について理解する 									
	保育士の役割と職業倫理を学ぶ									
指 導 方 法	│ │ 「保育所実習研究 」で履修した内容を実践すると同時に、保育所の指導を受け、実習生と									
履修上の	してふさわしい言動がとれるように、日常生活において十分に留意すること。また、実習関係									
注意	報告書類の提出遅延、実習中の怠惰、非行等があった場合は、本学の「実習派遣規制基準」に									
, T &	おって、実習の停止、中止等が行なわれる場合があり、保育士証取得が出来ないことになるの									
	で厳重に注意すること。									
 成績評価の	実習課題(20%) 実習日誌(30%) 実習施設による評価(50%)									
方法										
教 科 書	『実習の手引き』(実習委員会)『保育所保育指針』									
Y X	大日VプコC』(大日女只女人 体月/11体月11到』 									
参考文献	保育所実習研究の授業で使用する教科書、配布資料及び参考文献をよく参照すること。									

授業科目	施	設	実	習	単位数	2	担当教員	志濃原	亜美
講義のねら いと概要	育者として 保育士証	の職務内容を取得する	容等につい るため、例	ハて実際的に 保育実習(必	に学習する。 必修)の中に	施設実	開、利用者の乗 受習を行なうこ 知的障害者が	とが定められ	いており、
授業計画	実習施設の目的	り・機能の理	解						
	実習施設の目的・機能の理解								
	実習施設の人的	り・物的環境	の理解						
	実習施設の人的	り・物的環境	の理解						
	施設の利用者の								
	施設の利用者の								
	施設の利用者の					••••••			
	保育士の職務内 								
					·····································				
	施設と地域・家庭・関係機関等との連携についての理解								
						••••••			
指導方法履修上の					を理解して実 こ、十分に留		ると同時に、放	他設の指導を	受け、実
腹 修 上 の 注							っここ。 行等があった ^均	場合は、本学の	の「実習
					中止等が行な	われる	る場合があり、	保育士証取	得ができ
成績評価の	ないことに レポート(
方法	P.M. (J J 70 K	人口叭起	(3070)					
教 科 書	『最新保育	資料集 20	12』(ミオ	マルヴァ書原	号)				
参考文献	施設種別毎	の「実習園	園資料」(本学実習資 本学実習資	料室のもの)	等を	、数多く参照で	すること。	

授業科目	保育所実習 単位数 2 担当教員 丸橋 聡美									
講義のねら	保育所実習の目標は、保育所の保育を実際に実践し、子ども理解、かかわりの視点の明確									
いと概要	化、指導計画の作成・実践など保育士としての資質・能力・技術を修得する。また、子どもの									
	保育及び保護者支援、地域の子育て家庭への支援について総合的に学び、保育所の役割や機能									
	について理解を深める。									
	後期実習は、主に参加・責任実習であり、前期実習で学んだ基本的内容を踏まえ、積極的に									
	保育活動に参加し、保育の理論と技能を総合的に体験し、自らの保育観や目標を確立する。									
10 11/ 11 -	第2学年(二部は第3学年)に12日間実施。									
授業計画	保育所の社会的役割と責任を学ぶ									
	養護と教育が一体となって行なわれる保育を学ぶ									
	子どもの心身の状態や活動の観察をする									
	保育士等の動きや実践の観察をする									
	保育所の生活の流れや展開の把握を学ぶ									
	環境を通して行なう保育、生活や遊びを通して総合的に行なう保育を理解する									
	入所している子どもの保護者支援及び地域の子育て家庭への支援を学ぶ									
	地域社会との連携を学ぶ									
	保育課程に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程を理解する									
	作成した指導計画に基づく保育実践と評価を行なう									
	多様な保育の展開と保育士としての業務、職業倫理を理解する									
	保育士としての自己の課題を明確化する									
指導方法	│ │ 「保育所実習研究 」で履修した内容を実践すると同時に、保育所の指導を受け、実習生と									
履修上の	してふさわしい言動がとれるように、日常生活において十分に留意すること。また、実習関係									
注意	報告書類の提出遅延、実習中の怠惰、非行等があった場合は、本学の「実習派遣規制基準」に									
	よって、実習の停止、中止等が行なわれる場合があり、保育士証取得が出来ないことになるの									
	で厳重に注意すること。									
成績評価の	実習課題(20%) 実習日誌(30%) 実習施設による評価(50%)									
方 法										
数 む =	『中羽の千引き (中羽未昌今)『伊杏庇伊杏杉弘									
教 科 書	『実習の手引き』(実習委員会)『保育所保育指針』									
参考文献	保育所実習研究の授業で使用する教科書、配布資料及び参考文献をよく参照すること。									

1- 11/ -11 -								
授業科目	保育所実習研究 単位数 1 担当教員 丸橋聡美・丸山アヤ子							
講義のねら いと概要	この保育所実習研究 は、保育所実習に平行して行われる授業であり、実習の目的、実習施設の機能、保育者の職務内容や、実習手続書類の作成について学習し、実習参加意識の高揚、各自の実習課題と事後の学習目標を立てる等、保育実習の意義を高めるものである。 保育所実習研究 の目標は、保育実習の意義・目的・内容を理解し、自らの課題を明確にする。子どもの人権と最善の利益の考慮などを理解し、実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法について学ぶ。実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や目標明確にする。							
授業計画	第1週 保育実習、保育所実習について							
	第2週 保育所実習の目的理解							
	第3週 前期実習の目的(参加、観察実習)							
	第4週 前期実習参加の心得							
	第5週 実習手続き書類の作成指導(配当資料)							
	第6週 実習手続き書類の作成指導(調査書)							
	第7週 オリエンテーションについて							
	第8週 持ち物、身だしなみについて							
	第9週 保育園の一日の流れ、実習中の注意事項							
	第10週 参加、観察実習の留意点							
	第11週 実習日誌の作成指導							
	第12週 実習日誌の作成							
	第 13 週 実習課題と準備の説明							
	第 14 週 実習課題と準備の作成							
	第 15 週 実習の総括と自己評価							
指導方法 履修上の 注 意	い。また、実習提出書類の遅延、授業態度の怠惰等は、「実習派遣規制基準」によって禁じられ							
成績評価の 方 法	課題・レポート(60%)、授業態度(30%)、諸手続き(10%)							
教 科 書	『実習の手引き』(実習委員会)							
参考文献								

-									
授業科目	保	育 所 実 習 研 究	単位数 1	担当教員	丸橋聡美・丸山アヤ子				
講義のねら	この保育所実習研究 は、保育所実習に平行して行われる授業であり、実習の目的、実習施								
いと概要	設の機能、保育者の職務内容や、実習手続書類の作成について学習し、実習参加意識の高揚、								
	各自の実習課題と事後の学習目標を立てる等、保育実習の意義を高めるものである。								
	保育所実習研究の目標は、保育実習の意義・目的を理解し、総合的に学ぶ。実習や既習の								
	教科の内容や関連性を踏まえ、保育の全体的計画に基づく具体的な計画や保育実践力を培う。								
	保育士の	保育士の専門性と職業倫理を理解する。実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認							
	識を明確	笙にする。							
授業計画	第1週 後期実習の目的(参加、責任指導実習)								
	第2週	後期実習参加の心得							
	第3週	部分、責任指導実習の留意点							
	第4週	実習日誌の作成指導							
	第5週	実習日誌の作成(乳児クラス)							
	第6週	実習日誌の作成(幼児クラス)							
	第7週	指導計画案の作成指導							
	第8週	指導計画案の作成(乳児クラス)							
	第9週 指導計画案の作成(3歳児クラス)								
	第 10 週 指導計画案の作成(4・5 歳児クラス)								
	第 11 週 実習課題と準備の説明・作成								
	第 12 週 オリエンテーション報告書、実習報告書の作成								
	第13週 実習の総括と自己評価								
	第 14 週	子ども観、保育観の確立と職業倫理につい	IT						
	第 15 週	課題の明確化							
指導方法	各実習	 園に対する注意事項の説明、提出	出書類の作成等を	行うので、原見	則として欠席は認めな				
履修上の	い。また	こ、実習提出書類の遅延、授業態度	医の怠惰等は、「実	習派遣規制基	準」によって禁じられ				
注意	ており、	実習派遣ができなくなるので十分	た留意すること。						
 成績評価の	課題・し		 0 %) 諸手続き	(10%)					
方法	DIVICE P			(
 教 科 書	『宝羽の								
f X	大日 (/ 고 당 첫 타고 (大日 첫 당 조)							
参考文献									

					T	l l		I	I
授業科目	福祉			研究	単位数	1	担当教員	志濃原亜美	
講義のねら いと概要	この授業は、施設実習の前後に行なわれるものである。事前授業では実習の目的、実習施設の機能、保育者の職務内容、および実習手続き書類の作成等について学習し、実習心得を身に付け、実習参加意欲の高揚を図るとともに、各自の実習課題を確立する。 実習後授業は、実習報告会の参加、実習報告書と実習アンケートの作成等を通して、自己の適性を見直し、保育者としての使命感や人権意識等を考え今後の学習課題を設定する。								
授業計画	第1週 ;	オリエンテーシ	ョン						
	第2週	施設実習の意義	を理解する	 3					
	第3週	実習施設の配当	発表及び各	 各実習施設の理	解				
	第4週	居住型福祉施設	の生活実態	態を知る(V T	R)				
	第5週	実習生調査書の	清書						
	第6週	実習日誌の書き	方						
	第7週	児童福祉の相談	機関、施記	役の概要					
	第8週	児童福祉の相談	機関、施証						
	第9週 施設実習の様子、実習生の動き方を学ぶ								
	第 10 週 実習に挑む心得 第 11 週 実習に挑む心得 第 12 週 実習に向けての最終確認								
	第 13 週 実習評価と反省 第 14 週 実習報告会の参加(代表者)								
		実習報告書の作							
指導方法 履修上の 注 意	各実習園に対する注意事項の説明、提出書類の作成等を行うので、原則として欠席は認めない。また、実習提出書類の遅延、非行・怠惰等は、「実習派遣規制基準」によって禁じられているので十分に留意すること。 派遣施設が決まったら、自主的にその施設機能や利用者について予備学習を行うこと。								
成績評価の 方 法	課題(30%) レポート(20%) 授業態度(50%)								
教 科 書	『新保育	育ライブラリ	施設	実習』(民利	k言他編著、 は	比大路	書房)		
参考文献	『最新保育資料集 2012』(ミネルヴァ書房) 参考文献は適宜紹介する								